

A detailed topographic map of a mountainous region. The map features numerous contour lines indicating elevation, with labels such as 1000.0, 1005.0, 1010.0, 1015.0, 1020.0, 1025.0, 1030.0, 1035.0, 1040.0, 1045.0, 1050.0, 1055.0, 1060.0, 1065.0, 1070.0, 1075.0, 1080.0, 1085.0, 1090.0, 1095.0, 1100.0, 1105.0, 1110.0, 1115.0, 1120.0, 1125.0, 1130.0, 1135.0, 1140.0, 1145.0, 1150.0, 1155.0, 1160.0, 1165.0, 1170.0, 1175.0, 1180.0, 1185.0, 1190.0, 1195.0, 1200.0, 1205.0, 1210.0, 1215.0, 1220.0, 1225.0, 1230.0, 1235.0, 1240.0, 1245.0, 1250.0, 1255.0, 1260.0, 1265.0, 1270.0, 1275.0, 1280.0, 1285.0, 1290.0, 1295.0, 1300.0, 1305.0, 1310.0, 1315.0, 1320.0, 1325.0, 1330.0, 1335.0, 1340.0, 1345.0, 1350.0, 1355.0, 1360.0, 1365.0, 1370.0, 1375.0, 1380.0, 1385.0, 1390.0, 1395.0, 1400.0, 1405.0, 1410.0, 1415.0, 1420.0, 1425.0, 1430.0, 1435.0, 1440.0, 1445.0, 1450.0, 1455.0, 1460.0, 1465.0, 1470.0, 1475.0, 1480.0, 1485.0, 1490.0, 1495.0, 1500.0. A river flows through the center of the map, and several roads are shown. The map is overlaid with a grid of latitude and longitude lines. The title "文化財調査報告書" is printed in large, bold, black characters across the upper middle section of the map.

文化財調査報告書

前橋市教育委員会

昭和61年度
第 17 集

序

昭和49年、前橋市教育委員会社会教育課に文化財保護係が新設され、早くも13年が経過いたしました。今年度におきましても、市民各位と関連市長部局等の御理解と御協力により、各事業が円滑に実施することができました。

とりわけ、昭和52年に着手した妙安寺の文化財調査が、前橋市文化財調査報告書、「妙安寺（一）谷山記録・寺宝」として刊行できましたことは、調査委員の先生方のご苦勞の成果であり、特筆すべきことです。また、この発刊とタイアップして開催された文化財普及講座には、多くの市民の方々の参加を得ることができ、文化財に対する静かな関心の高まりを実感いたしました。

また、史跡整備事業においては、3ヶ年の歳月と巨費を投じた総社神社本殿の半解体修理が終了し、桃山様式の美しい姿が蘇りました。

総合調査事業では、妙安寺文化財調査に加え、民俗調査を実施いたしました。今年度は、南橋地区の聞き取り調査を行い、数年後の報告書刊行にむけて着々と準備を進めております。

埋蔵文化財の発掘調査事業においては、民間開発に先立つ調査依頼が相次ぎ、依頼総数は67件にも及びました。この67件のうち16件は、本格的な発掘調査を実施いたしました。今後もこの忙しい状況が続くものと思います。尚、この状況に対応するため、昭和62年4月には旧柱萱公民館跡地に文化財保護室を新設し、発掘調査の拠点としていく所存です。

最後に、本市教育委員会の文化財調査員として長年に渡り御苦勞していただいた山田武磨先生が急逝されたことは誠に残念なことでした。ここに謹んで先生の御冥福をお祈りするとともに、本文化財調査報告書第17集が今後の文化財保護行政への一助となることを期待する次第です。

昭和62年3月

前橋市教育委員会
教育長 岡本信正

目 次

序		11 村東遺跡 (委託調査) ……………	17
例言		12 木の宮遺跡……………	18
緒言……………	1	13 鎮守廻り遺跡……………	18
I 昭和61年度事業概要……………	2	14 神明東遺跡……………	19
1 保護・管理運営……………	2	15 屋敷遺跡……………	19
2 整備事業……………	3	16 勝呂遺跡……………	20
3 総合調査事業……………	3	17 西堀遺跡……………	20
4 普及事業……………	4	V 昭和61年度事業の成果から……………	21
II 昭和61年度文化財調査……………	5	1 妙安寺文化財調査のまとめ……………	21
1 源英寺文化財調査……………	5	2 前橋の小さな旅 <small>総社地区 歴史散歩道整備</small> ……	22
2 東照宮文化財調査……………	6	3 総合調査事業……………	24
III 昭和61年度新指定物件の紹介……………	7	4 普及講座……………	26
1 前橋藩主松平家奉納能装束一式……………	7	指定文化財一覧……………	28
2 前橋藩主松平家軍配……………	9	あとがき……………	32
3 前橋藩主松平家陣羽織……………	9	山田武麿先生を偲んで……………	33
IV 昭和61年度発掘調査事業の概要……………	10	名簿……………	34
前橋市内発掘調査地分布図……………	10		
昭和61年度発掘調査一覧……………	11		
1 柳久保遺跡群……………	12		
2 柳久保遺跡群 (委託調査) ……	13		
3 元総社明神遺跡V……………	13		
4 小神明遺跡群V……………	14		
5 芳賀団地遺跡 (報告書作成事業) 14			
6 寺田遺跡 (委託調査) ……	15		
7 前山遺跡 (委託調査) ……	15		
8 小稲荷遺跡 (委託調査) ……	16		
9 生川遺跡 (委託調査) ……	16		
10 天神遺跡 (委託調査) ……	17		

例 言

1. 本書は、前橋市教育委員会社会教育課文化財保護係で行われた昭和61年度の発掘調査の概要をまとめたものである。
2. 編集の方針として、各種の発掘事業文化財普及事業や他の事業の成果を広く市民の方々に還元できるように、なるべくわかりやすく視覚に訴える表現を心がけた。
3. 本書の企画編集は渡藤和夫が担当した。

緒 言

教育委員会内に設置されている文化財保護係の仕事は、文化財の保護と管理、史跡等の整備、市民への普及活動、各種文化財の総合調査、埋蔵文化財の発掘調査等広範囲の事業を全て網羅せねばならぬ責務を負っているのである。しかし、例年その仕事の大半は、埋蔵文化財発掘調査事業にさかれてしまい、発掘調査の合間をぬうようにして各種文化財の調査、普及活動等が行われており、仕事の重要さを認識していながら、市民の文化財に対する多様なニーズに十分応えられないというジレンマに陥っていたのが現状であった。

昭和61年度の文化財保護行政は、従来の埋蔵文化財調査中心の仕事内容を反省し、幅広く市民のニーズに応えるべく体制を整備していくことに主眼を置いた。埋蔵文化財調査担当の職員に加え、管理運営、史跡等の整備、保護普及、文化財総合調査の分野にそれぞれ担当職員を配し、即応体制をとり、それなりの成果を上げることができた。また、埋蔵文化財関係では、近年急増の傾向にある民間開発の調査に即応するため試掘調査担当を置き、60件を超える事前調査を行った。発掘調査は先年度の9件から15件に増え、総調査面積も約7万㎡に達している。整備事業では、総社地区歴史散歩道の策定を行い、普及では30件を越す史跡文化財めぐりの要望に対応した。文化財総合調査においては、民具から古銭、甲冑にいたるまでおよそ60件の調査が行われ、東照宮の能装束一式、永明小の前橋藩ゆかりの甲冑等埋もれた文化財を多数掘り起こすことができ、多大な成果を上げることができた。

本調査報告書は、昭和61年度の前橋市の文化財保護行政の概要を記したものである。本市の文化財保護行政を理解していただき、且つ資料として活用していただければ幸いです。

尚、大変残念なことではありますが、永年本市の文化財調査委員をしていただきました山田武憲先生が10月29日に急逝されました。妙安寺文化財調査等で多大な功績を本市に残していただいたことに対し感謝申し上げる次第です。

社会教育課 文化財保護係

係 長 福 田 紀 雄

I 昭和61年度事業概要

1. 保護・管理運営

豊かな歴史の風土に根ざす本市は原始古代から中・近世に至るさまざまな文化財に富まれています。この文化財に対する市民の興味・関心は一般に高まり、歴史を通して地域を再発見しようとする気運が盛りあがっています。文化財の保護管理はこうした状況を踏まえ展開してきました。

(1) 国文化財管理

国文化財である下記古蹟について管理を実施しています。

名称	所在地	指定年月
古蹟 天竺三子山古蹟	（昭和）三子山古蹟	
指定種別	国指定古蹟	国指定古蹟
指定年月	昭和2年4月6日	昭和2年4月6日
面積	7,315㎡	5,139㎡
管理人	長瀬 貞吉	大田 好夫
管理用	西濃白雲寺	新田寺

(2) 市指定文化財管理

指定文化財 133件のうち、市指定76件

について管理を実施しています。

区分	種別	件数	面積	指定	指定	指定	指定
国指定	古蹟	2	1	0	0	5	21
市指定	古蹟	21	4	0	1	0	35
市指定	古蹟	15	0	7	3	5	76
合計		23	5	7	4	10	97

(3) 史跡等の清掃・除草及び管理

市内の文化財のうち、特に手入れを要する古蹟等について清掃等を実施しています。

番号	名称	区	全	積	面積
1	東濃山古蹟	西濃町	山田	1	2,484㎡
2	今宮古蹟	山田	山田	1	2,484㎡
3	春日神社	西濃町	春日	1	3,402㎡
4	長瀬古蹟	西濃町	長瀬	1	420㎡
5	新田古蹟	西濃町	新田	1	3,800㎡
6	天竺山古蹟	西濃町	天竺	1	770㎡
7	八幡山古蹟	西濃町	八幡	1	10,645㎡
8	東二子古蹟	西濃町	東二子	1	10,055㎡
9	中二子古蹟	西濃町	中二子	1	10,285㎡
10	西二子古蹟	西濃町	西二子	1	12,280㎡
11	新田古蹟	西濃町	新田	1	1,750㎡
12	天竺山古蹟	西濃町	天竺	1	2,970㎡
13	天竺山古蹟	西濃町	天竺	1	4,892㎡

(4) 文化財（土）ロール

市内を五地区に分け、それぞれ文化財保護指針を策定し指定・未指定文化財の（土）ロールを実施しています。

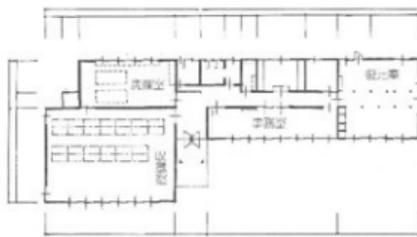
地区名	指定種別
中央	一ノノノノ
城北・北郷	新木・西郷
城南・西郷	新木・西郷
東郷・西郷	新木・西郷
西郷・西郷	新木・西郷
西郷・西郷	新木・西郷

(5) 遺跡記念館の整備及び管理

明治45年国立原真蹟製造所として建てられた本館は、昭和60年に県指定重要文化財となり翌年に遺跡記念館として一般公開されています。毎年2万人を超える入館者が生来の町の面影をしのんでいます。

(6) 文化財保護室（旧桂宮公民館）改修

年々増大する埋蔵文化財発見調査によって集積した遺物を一括管理し、整理作業等の一元化を図るために改修工事を実施しました。



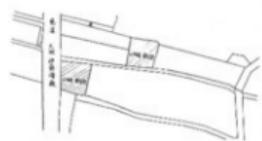
文化財保護室

(7) 国指定史跡「女塚」土地買上げ

昭和58年10月27日付で国指定となった「女塚」の買上げを実施しました。

① 昭和61年度買収地

昭和58年度（東入部地区）	—	3,380円	（買収面積の100%）
昭和60年度（東ノノノ地区）	—	3,502円	（ノノノ 044,796）
昭和60年度（二之宮地区）	—	260円	
昭和61年度（二ノノノ地区）	—	3/9円	（ノノノ 018,496）
昭和62年度（二ノノノ地区）	予定	1,421円	



女塚買収地位地図

地区名	買収面積	買収金額	買収割合	①+②	①+②+③
東ノノノ	2,896㎡	—	—	—	—
二之宮	7,767㎡	2,070円	4,552円	5,532円	91,296
東ノノノ	7,573.43㎡	3,500円	—	—	44,776
東ノノノ	4,165.49㎡	1,236.61円	—	—	100%
東ノノノ	3,380㎡	3,380円	—	—	100%
東ノノノ	2,175㎡	—	10,175円	—	100%



国指定史跡（墓土井地区）

2. 整備事業

整備の仕立てとして、現在の状態を保存維持するという普遍的なものと、記録や文化財を本来的な姿に復元するという形成的なものに区分したとすると、81年度で行った整備は普遍的なもの为主体でした。

史跡の整備においては、この2つのものは同時に効果を上げるのであり、どちらかに片寄っても十分ではありません。

史跡や文化財の整備というのは、我々の背後にある文化や歴史事象の多様性を表出するという点で、我々の生活空間を多様に豊かにするという作用を及ぼします。

交通・通信手段の進歩は、我々の生活空間の飛躍的拡大をもたらしましたが、それと同時に、特異的な拡大(複層化)について考えた場合、科学の進歩やITなどは未来へ向けての特異的複層化をもたらしますが、歴史を扱う分野一般や史跡や文化財の修復は過去に向けての特

異の複層化をもたらすでしょう。この場合の特異的な拡大(複層化)とは、歴史意識や歴史的理想力の形成といった精神的なものです。

史跡や文化財の整備は、最終的には歴史意識の形成を目的としています。歴史意識というのは特定の歴史事象を一体的に表現している空間で、人々がこの空間に集り居られると、特定の歴史事象に力がある歴史的理想力(歴史意識)が喚起されるような空間です。

そして、京都や奈良のようなすでに歴史意識が形成されている地域では普遍的な整備がより必要でしょうし、前掲のような価値ある史跡があまりながら歴史空間にまでつていない場合は形成的な整備がより重要になるでしょう。

このような新整備により、日昇的な生活空間がより複層化されれば、我々の生活・文化はより多様性に富んだ豊かなものとなり、前掲を築いていかに人の人々の英魂は我々を育てて子孫に継承され、ふき立つとして郷土の文化を形成する核

となるかもしれません。

次に、今年度実施した事業を紹介しましょう。

標識・説明板の設置

- 標 識 堀江陣(歴史)、慈徳寺供養塔(市産)、富田の宮産(市産)
- 説明板 二宮赤城神社(奥座・内座・市史他影)5点一括を説明し
- 案内板 下川郡地区の文化財めぐり案内板を下川郡公民館に設置。



二宮赤城神社に設置された説明板

その他、予備化ならされていないがたが(飯島)給地区歴史館跡遺跡整備に関する事前調査と検討を行ないました。

(1997年)

3. 総合調査事業

一年間を通して実施した調査については、日、表示、内容を表記し、詳細な内容は別添にゆずります。

- 4月12・13日 片岡神社大塚調査
- 4月17・18日 産泰社社祭礼調査
- 4月21・22日 下河内町民具調査
- 5月2日 東郷宮什宝調査
- 5月13日 上京諏訪神社本殿形変調査
- 5月14日 東郷宮什宝神体調査
- 5月17日 上京諏訪神社調査
- 6月3・9・10日 甲吉調査
- 6月13日 石造物調査(飯島)小幡町
- 6月18日 天川大高町堀方調査
永明小幡調査
- 6月17日 天川大高町二福調査
- 6月24日 産泰社社祭礼調査
- 6月25日 永明小幡宮女為土器調査
- 7月3日 須田寺御前石籠調査
- 7月9日 昭和町堀き取り調査
- 7月21日 永明小幡調査
静観前の墓調査

- 7月24・25日 力丸の形蔵土器調査
- 7月26日 飯形の土器調査
- 8月7日 民具調査(上)堀井町 他
- 8月8日 民具調査(日)堀井町 他
- 8月9日 民具調査(地)堀井町 他
- 8月10日 民具調査(山)堀井町 他
- 8月21日 古蹟調査 この調査は3月4日まで15日間で実施した。
- 8月26日 臨江陣他塚礼調査
- 8月29日 民具調査(南)堀井町
- 9月5日 民具調査(山)堀井町
- 9月18日 石造物調査(堀井町)
- 9月24日 東郷宮什宝調査
- 10月8日 江田町諏訪神社子器調査
- 10月9日 南郷民具調査
- 10月11日 東郷宮民具調査
- 10月11・12日 前掲まつり調査
- 10月13日 石造物調査(飯島)寺
- 10月16日 石造物調査(飯島)土器調査
富田の土器調査
- 11月7日 民具調査(下)堀井町
- 11月21日 飯島町御前土器調査
石造物調査(下)堀井町

- 11月25・26・27日 民具調査(堀井町)
- 12月4日 箕川町堀井町調査
- 12月9・10日 石造物調査(堀井町)
- 12月12日 石造物調査(堀井町)
- 12月13日 民具調査(堀井町)
- 12月13日 民具調査(堀井町)
- 12月14日 堀井町(堀井町)
- 12月20日 民具調査(堀井町)
- 12月30日 民具調査(堀井町)
- 1月8日 東郷宮(堀井町)
- 1月9日 民具調査(堀井町)
- 1月13日 民具調査(堀井町)
- 1月19日 川井町(堀井町)
- 2月3日 堀井町(堀井町)
- 2月4日 堀井町(堀井町)
- 2月6日 民具調査(堀井町)
- 2月24日 西片町(堀井町)
- 2月28日 堀井町(堀井町)
- 3月1日 堀井町(堀井町)
- 3月4日 堀井町(堀井町)
- 3月5日 堀井町(堀井町)
- 3月6日 民具調査(堀井町)

4. 普及事業

水と土の自然に造られた前橋に、2万年以上前から人々が住み始め、多くの歴史的遺産（文化財）を今に伝えてきている。これら先人の残してきた遺産を保護・管理することはもちろんであるが、先人たちの知恵や工夫を学びとってもらうために整備普及していくことも文化財保護行政の重要な責務となっている。

近年、余暇の有効活用、生涯学習の推進が盛んに言われているが、文化財サイドでも、よりよい普及施設を提供していくよう工夫していかなければならない。

第12回前橋市文化財展

昭和52年8月1日(土)～9月6日(日)
於 前橋市立図書館2階展示室
テーマ 「古代前橋人のくらし」
一古代人の知恵と工夫
市では、市内各地で民衆に身近な歴史文化財の発掘調査を毎年実施している。出土した遺物は、復元、実物展示、報告書に掲載されるが、収蔵庫へ収納され

利用される機会は極めて少ない。今回の文化財展では、最近行われた発掘調査で出土した土器や石器をジオパッド風に展示し、物言わぬ遺物の一つ一つから先人の知恵と工夫を学びとってもらうことを目的として開催した。また、文化財相談コーナーを設け期間中8回にわたり、併設が発見者に対して説明を行った。期間中、小中学生を中心に約2,000名程の発見者が訪れ、特に土器に手を触れて分類するコーナー、粘土に紙文をつけるコーナーが好評であった。



文化財展「古代人の知恵と工夫」より

第14回前橋市郷土芸能大会

昭和51年11月15日(土)
於 前橋市民文化会館小ホール
前橋の伝統ある郷土芸能を広く市民に公開し、保護・育成をはかり、市民文化を向上させることを目的として開催。
出演団体
鮎形太々和楽 敬祥会(町形)
二子山由来和楽 善壽寺梅花講(史大童)
稲崎藤節・野郎万才 泉沢町郷土芸能保存会(泉沢)

上宿獅子舞 上宿獅子舞保存会(元給社)
紅雲町二丁目御やし
紅雲町二丁目子ども育成会(紅雲二)
文化財整備ポスターの作成

昭和50年度に実施した文化財整備作業コンクールのポスター部門最優秀作品をポスター化し、文化財関係図書・所有者等に配布した。

遺跡現地見学・史跡文化財めぐり

前年度中に社会教育課へ依頼があった遺跡見学・史跡文化財めぐりの団体は30を超えるほどであった。



史跡・文化財めぐり(史六山古墳)

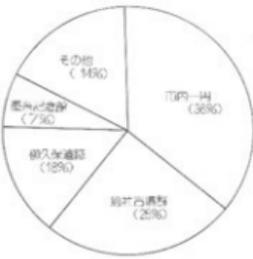
発見者団体は、一般が約40%、PTAを含む学校関係が約38%で、他は地区公民館主催の高齢者教室等であった。

方面としては、市内一円が最も多く、続いて国・県・市指定史跡の集中している発見者・給社地区、バラ園内にある後米記念館となっている。

時期としては、行楽シーズンの始まりである9月後半から10月、文化の日を中心として10月後半から11月前半に集中している。

第5回文化財普及講座

昭和52年2月19日(土)
於 前橋市立図書館地下講堂
テーマ 「惣安寺とその寺宝」
昭和52年以来およそ十年の歳月をかけて前橋市文化財調査委員故山田福徳氏を中心に行われた惣安寺文化財調査は、創年度の文化財調査書「惣安寺―谷山山王院・寺宝」の刊行をもって終了した。今年度の文化財調査書「惣安寺―谷山山王院・寺宝」の刊行をもって終了した。今年度の文化財調査書の刊行を記念して行われたもので約80名程の受講者があった。
また、8月23日～27日6日までの間に10回のシリーズで国民文化大学専門講座「前橋のみまもり」を景観委員の川越幸業で実施した。受講者平均60名前後。
普及講座・専門講座・調査内容とも紹介の良き事例のこと。
教材開発事業(スライド作成)
社会教育(学校教育を中心)で活用されることを目的とした歴史・文化財スライドを作成した。内容は、近代・現代橋本市に関連する歴史資料・文化財・人物・記述等を編集、52年製成予定。



史跡・文化財めぐり方面別内訳

遺跡の見学

発見現場の見学は、熊子町の柳久保遺跡、小石明神の小神祠遺跡で実施された。柳久保遺跡では、市内の小学校(首巻小)6年生186名・大胡小5年生200名)からも多数の見学者があり、調査担当者、普及担当者も参加した。また、7月末には岩神小6年生による体験発掘もあり、文化財普及に大きな効果を挙げた。

その他

「志願まえばし」への執筆(14回)

II 昭和61年度文化財調査

1. 源英寺文化財調査

源英寺は、L1号を柳原山と称し、児童遊園地の北辺を東流する鼠川川の北、大手町二丁目に在する曹洞宗の寺である。

既述(前掲)藩初代藩士造井重忠の葬儀を行った麻洞院(葛井家の菩提寺で歴代藩主の墓がある)興教春隆和尙の歸居寺として二代藩主忠世によって源英寺は開基されている。龍蓮院とともに造井家とカかわりの深い寺で、市指定重要文化財である扇井重忠西縁が口伝書並びに田圃書とともに伝えられている。

調査は、9月12日に行われ、酒井公直筆と伝える柳原山の縁をはじめとした什物類4点、雅楽頭源忍清よりのもえへの書状他文書類23点の文化財が調査された。(詳細は別表参照)

また、境内には、松平藩士の墓も多数あり、桐葉車人、白井守左衛門、小川原左衛門重臣の墓も確認された。

源英寺古文書目録

整理番号	標 題	年 次	発 書	差 出 書
1	屏	天保6年産冬		慧林寺
2	上三石(石)部御門前於五石三(写)	明暦2年9月3日	源英寺	莊染時源忠清
3	書状(鶴気院側)	4月21日	鑿堂茶玉斎和尙	大山伊兵衛 他2名
4	書状	乙5月21日	△多左衛門・松平左衛門	慧林寺
5	舖 所 請	9月3日	隆興寺・源英寺	石原新助・笠不在左太
6	〃	同1	同1	中村源義
7	年賀の祝い	正7月13日	源英寺	家出 部
8	〃	享和3月	源英寺(15封)	姫路国御前(15封)
9	〃	正7月18日	源英寺	大橋・羽川 氏
10	〃	明治元年12月13日		本多敬久様・高須車人
11	書 居 願			
12	同 上	1757(23日)	本多左衛門・松平左衛門	慧林寺
13	(飯取、竹林、本堂のことなど)	寛延3年6月	朝 世 所	源英寺
14	(橋 地)	享和3年6月	岡上ヶ寺御役者口	源英寺
15	当山十六集記之(6通8行)	明治6年10月		
16	二(境内の寺、出陣、寺など 4通)	明治4年11月	御支配・御役所	源英寺
17	龍蓮院 縁につき書状	6月28日	源英寺・隆興寺	(世話人3名法帖)
18	什 物 記	明治7年5月	堀代・牛形八郎	源英寺生頼 親徳
19	奉願後断地書之事(上野国群馬郡前代日村之内田)	明治5年6月		
20	書状(徳島府側の御法事之事)	7月15日		酒川秀八郎 他3名
21	貞徳様 02番台録 No13と押し)			
22	段 与 状	寛政6年7月23日	観音寺	妙見庵 他4人
23	書 状 (大名宛書状)	明暦2年9月3日	源英寺	源英頭源忍清

源英寺什物目録

整理番号	標 題	年 次	備 考
24	釈迦涅槃図(麻呂焼什物)	文政11年(1797)	
25	可弥陀如来立像(本尊)		高13.5×T10cmほど
26	屏(頼朝屏)		酒井公直筆と伝える
27	造井重忠西縁	元和2年(1716)	酒井重忠 筆 市指定重要文化財

III 昭和61年度新指定物件の紹介

東照宮 関係



名 称 前橋藩主松平家奉納能装束一式

所 在 地 前橋市大手町三丁目13番19号

管 理 者 東照宮

指定区分 前橋市指定重要文化財

記号番号 重 第53号

指定年月日 昭和62年6月24日

1. 唐織1点
 2. 厚褌3点
 3. 袴5点
 4. 魁斗白4点
 5. 大門5点
 6. 水衣3点
 7. 飾太刀2点
 8. 面10点
 9. 鼓2点
 10. 黒頭1点
 11. 赤頭1点
 12. 掛素袍1点
 13. 下垂1点
- 計13件39点

〈概要〉

この能装束が奉納された東照宮は、寛文12年(1635)6月6日、藩祖である越前大野城主松平直基により創建された。奥州白河にあった享保20年(1735)には、200石が寄進されている。

12回に及ぶ藩の転封に伴い、社殿の造営は7回を致している。

現在の社殿は、嘉永7年(1854)川越城内清水門内にあったものを、明治4年4月23日、前橋成

良方に再興したものである。

社殿の材木は、樹齢千年を越える一本のけやきの巨木から切り出されたという。

本殿の彫刻は、江戸の彫師、島村源蔵の作である。

明治維新に際し、朝敵の名をはばかり、御神体を前ノ宮村寿延寺に移し、社殿には天神社を再興して祭った。

明治4年4月23日に合祀となって、旧に復している。

昭和3年8月10日付の東照宮宝物台帳によれば明治4年6月17日、12代の松平直方が、この能装束を寄進したと記されている。寄進状はない。

寄進の理由は明らかではないが、藩祖より崇敬している神社であり、藩知事を免ぜられ、東京に引き上げる際に、記念として寄進したものと伝えられている。

松平直方は前田家を出で、明治2年8月28日、11代直克の養子となり、家督を相続している。

同年7月25日に前橋藩知事になっているが、明治4年7月15日には、鹿藩により知事を免ぜられ伯耆に列せられた。

装束の内、主なものについて説明する。

①茶地亀甲文四季草花模様唐織

この唐織は、18世紀前半、享保年間ころの作品で、能装束が籠んに作られた頃のものである。

四季の草花は、萩、竹、梅、杜若であり、四季の文様をつけることで、通年の使用ができるものである。

地色の茶は、鉄を使用し焙煎をしたもので、酸化によりいたみやすが、よく保存されている。

身丈 152cm、 裾74cm、 袖丈53cm

②薄茶白段竹亀甲に輪宝窠草花模様厚褌(三号)

茶緑色白段草草に輪宝窠草花模様厚褌(四号)

この厚褌も、18世紀前半、享保年間ころの作品



であり、保存状態は良い。唐織と同じく、松平直方の奉納品である。

台帳には、次のように記載されている。

(三号) 絹地錦糸傘甲中二紋織出青福文二竹文様織出表紫甲斐絹元禄袖

(四号) 絹地亀甲形中花菱紋唐草模様織出表白甲斐絹元禄袖

法量は以下の通りである。

(三号) 身丈 150cm、裾68cm、袖丈52cm

(四号) 身丈 150cm、裾70cm、袖丈55cm

③面

松平直方奉納の面10面は、能面4面、狂言面6面となっている。

能面は髭(シカミ)、橋姫、大痺見(おおべし)、鼻窟悪尉(はなこぶあくじょう)である。

狂言面は、武悪(ぶあく)、登髭(のぼりひげ)2面、乙(おと)、祖父(おおぢ)、嘘吹(うそふき)である。

これらの面は、江戸時代中期から、やや下った時代のもので、正徳、享保の頃の作品をまねたものである。



能面(大痺見—おおべし)



能面(橋姫)



狂言面(登髭—のぼりひげ)



狂言面(乙—おと)

大きさは、ほぼ4寸×5寸で、江戸時代のものである。

10面の内4面は、名工^{市川}自義助の作と台帳に伝えるが、出目家の正統にその名はなく、おそらく面打師としての格を高めるため自称したものだらう。

作品からみても、相当面を打った人物であり素人ではない。

面の基本的な形が決まった時代の作品で、表は作者による違いはなく、現代でも使用できるものである。

これらの能装束は、本市において数少ない能、狂言の装束であり、藩主の所蔵であった点も貴重である。

これらの調査にあたっては、装束、陣羽織については、適山記念館付属美術館長の山辺知行氏、面、軍配については、昭和女子大学教授の後藤淑氏に御助言をいただいた。



名称 前橋藩主松平家軍配
所在地 前橋市大手町三丁目13番19号
管理者 前橋東照宮
指定区分 前橋市指定重要文化財
記号番号 重 第55号
指定年月日 昭和62年6月24日
法量 長さ46cm 幅16.8cm

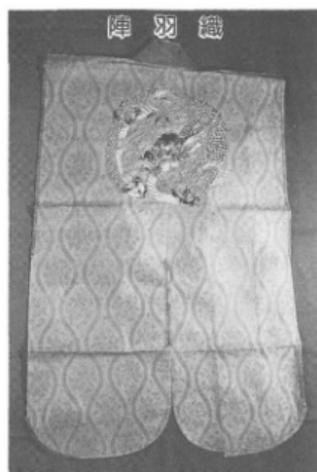
〈概要〉

武将の軍陣での指揮用具で、軍配団扇の略。

軍陣の配置、進退の日時・方角などを占って軍の采配をすることを「軍配」という。空明末期以降、軍陣での采配を団扇で行うことが流行し、また、陰陽道の卜筮・占星などの占いが戦術に影響を与えたことから、その表面に日月星辰の羽などを軍配日取りの記号として記することが多くなり、軍配団扇と呼ばれるようになる。略して軍配となった。実戦用の武具として、羽は鉄・革・木、柄を金属で巻き、柄は欵や木などが用いられる。

この軍配は、羽が木に朱の漆塗り金属で縁どり、片面に松平直矩の名と延宝2(1674)年の年月と「龍」の字、もう一面に陰陽道の占いに関すると思われる羽があり、柄は木で漆塗り、朱色の組紐が付く。

(中野和夫)



名称 前橋藩主松平家陣羽織
所在地 前橋市大手町三丁目13番19号
管理者 前橋東照宮
指定区分 前橋市指定重要文化財
記号番号 重 第54号
指定年月日 昭和62年6月24日
法量 身丈100cm 袴28cm 前幅34cm

〈概要〉

陣羽織は、武士が合戦の時具足の上から着用した上衣で、具足羽織・陣前服とも言われた。

空明時代中ごろ、機動力を要する戦闘法の変化から具足が軽快なもの(当世具足)となり、防寒防雨や礼容を整えるために用いられるようになる。

初期は南蛮服の影響なども受け、形・装飾とも多様であったが、江戸の平和な時代では戦陣用ではなく、儀仗用の形式的・装飾的なものとなった。

この陣羽織は18世紀(江戸時代中期)のもので、地布の織は頭紋紗、地布紋は桜立涌紋である。

襟文様は茶地角竜文様銀蘭、縁取りは小石黒唐文銀蘭である。背の龍の丸文は、ガラスの目に鉄製の爪、火焰は赤磨紗と黒羅紗のアップリケとめ、金糸の刺繍がある。

(中野和夫)

IV 昭和61年度発掘調査事業の概要

本年度の発掘をふりかえって

本年度の埋蔵文化財調査事業は、15遺跡16現場の発掘調査・万葉東部印地遺跡の整理事業・民間開発に伴う年間60件に及び埋蔵文化財確認調査事業（表面調査50件・試掘調査27件・立ち合い調査12件）であった。これらの埋蔵文化財調査は、年々増加する傾向が見られ、本年度も昨年を大幅に（約150%増）上回る件数であった。

調査の結果、市内各地の遺跡から前橋市の歴史・地域の歴史を解明する上で、貴重な資料を得ることができた。中でも、元総村地区における3つの遺跡（元総社明神遺跡Ⅴ・寺田遺跡・閑泉明神北遺跡）から検出された大溝は、古代上野国府に隣接する溝と考えられ、国府城を推定する上での1つの手がかりとなった。また同地区の寺田遺跡では、浅間川礫石（4世紀初頭）降下後の黒色泥炭層より石田川式土器や鬼高式土器とともに多量の木製品（杵・曲刀・椀・鉢・檜桶・杭など）が採

土した。おそらく、当時農具として使われていたものが、地中奥深く埋没し腐らずに残っていたと思われる。これは、昭和60年度に調査した元総社明神遺跡Ⅳで出土した木製品と同時期のものとして推定できる。さらに、赤城山南麓の荒子・荒口町にまたがる柳久保遺跡では、昭和60年度から始まった調査の3年次が終了し、3カ所にあよび舌状台地全面の古墳時代から奈良平安時代にかけての集落構成が判明できたことも特筆できる。

その外の遺跡の成果についても枚挙に暇はないが、紙面の関係上今後に残された課題を挙げて、本年度のまとめとしたい。

まず、毎年急速に開発が進む中で、文化財保護と開発事業者への便宜を図るため、本年度準備段階であった遺跡詳細分布調査を早急を実施する必要がある。また、調査の迅速化が叫ばれている最中、調査方法や整理方法の改善を図り、効率よく無駄を省いて調査する必要がある。

さらに、発掘調査の結果得られた成果や資料を広く一般市民に紹介し、文化財保護思想の高揚を図ることが大切であろう。



発掘調査一覧

期	調査区	期	期	地	調査面積	調査内容	調査種別	調査時期	本調査期間・調査
1	坂久保遺跡(個人蔵・池田)	81F2-1		熊手屯所(久保・築地502 外)	12,600	13期(中)土器遺構	発掘		S35. 5. 2~61. 1. 20
2	坂久保遺跡(個人蔵・池田)	81E2-2		坂久保遺跡(個人蔵・池田)380 外	18,570	坂久保遺跡(個人蔵・池田)	発掘		S38. 4. 4~61. 12. 20
3	大塚町(池田)遺跡	81A15		元福地町2576-23 外	1,019	江戸後期遺構	発掘		S36. 5. 1~61. 1. 15
4	小塚遺跡(池田)	81C2		元福地町字元福地31番地 外5番	11,000	土地区画事業	発掘		S61. 6. 30~61. 10. 4
5	寺田遺跡	81A14		元福地町100-10 外5番	2,500	元福地町字元福地	発掘		S61. 5. 20~61. 10. 6
6	寺田遺跡	81E8		坂久保1206 1 外	22,000	熊手屯所(久保)遺構	発掘		S61. 7. 15~61. 10. 10
7	小塚遺跡	81G1		元福地町1109-1 外5番	11,563	坂久保遺跡(個人蔵・池田)遺構	発掘		S61. 8. 1~61. 11. 15
8	生川遺跡	81H4		南町2-1-53-1 外3番	800	マンション建設	発掘		S61. 4. 10~61. 6. 4
9	入神遺跡	81A13		元福地町字元福地51 外5番	1,600	土器(スーパーマーケット)建設	発掘		S61. 4. 30~61. 6. 17
10	村東遺跡	81A17		坂久保町1163-1 外2番	1,000	マンション建設	発掘		S61. 10. 6~61. 11. 29
11	木ノ宮遺跡	81G4		元福地町3-14-1・2	156	土器(元福地町)建設	発掘		S61. 4. 30~61. 5. 1
12	御守野遺跡	81G5		元福地町3-30-1 外7番	70	遺構(元福地町)	発掘		S61. 5. 22~61. 5. 29
13	御守野遺跡	81A18		元福地町字元福地5-1・6・7	490	マンション建設	発掘		S61. 10. 20~61. 10. 23
14	釜谷遺跡	81A20		大塚町2206	141	マンション建設	発掘		S61. 11. 12~61. 3. 21
15	御守野遺跡	81A16		元福地町29-1 外2番	621	土器(スーパーマーケット)建設	発掘		S61. 12. 1~61. 12. 13
16	西島遺跡	81E5		二軒井町字元福地 254	141	遺構(元福地町)	発掘		S62. 1. 12~62. 1. 19
17	元福地町(池田)遺跡			坂久保町・小塚町・元福地町	327,800	元福地町・坂久保町	発掘		S35. 5. 2~61. 1. 20 S38. 4. 4~61. 12. 20 S36. 5. 1~61. 1. 15 S61. 6. 30~61. 10. 4 S61. 5. 20~61. 10. 6 S61. 7. 15~61. 10. 10 S61. 8. 1~61. 11. 15 S61. 4. 10~61. 6. 4 S61. 4. 30~61. 6. 17 S61. 10. 6~61. 11. 29 S61. 4. 30~61. 5. 1 S61. 5. 22~61. 5. 29 S61. 10. 20~61. 10. 23 S61. 11. 12~61. 3. 21 S61. 12. 1~61. 12. 13 S62. 1. 12~62. 1. 19
18				二軒井町1743-1 外4番	4,191	住宅区画事業	発掘		
19				二軒井町字元福地984-1 外	6,381	元福地町(池田)建設	発掘		
20				小塚町字元福地55 外1	3,797	土器(スーパーマーケット)建設	発掘		
21				御守野町字元福地569-2	1,800	ビル建設	発掘		
22	木ノ宮遺跡	82A2		西島町1-28-7 外	1,230	住宅建設	発掘		1972年度(池田)調査区画
23				西島町1-1番地105-1	2,247	土器(オートセンター)建設	発掘		
24				川原町字元福地176-61・64	2,571	住宅区画・マンション建設	発掘		
25	道下遺跡	81E10		今大塚町下308-1・2	1,413	住宅区画事業建設	発掘		調査区画の中心に居住区画
26				坂久保町116272 1 外2番	2,130	宅地分譲	発掘		
27				坂久保町11-1・58	1,888	坂久保町(池田)住宅区画	発掘		
28				坂久保町下3045 1 外	18,885	宅地分譲	発掘		
29				下川町13-21-7・8	1,572	宅地分譲	発掘		開発中
30				南町1丁遺跡1 外	2,512	宅地分譲	発掘		
31				小塚町字元福地579	1,180	宅地分譲	発掘		
32	大友屋敷遺跡	81A22		大友町3-9	666	ビル建設	発掘		元福地町(池田)調査区画
33				元福地町17-3	324	住宅区画	発掘		
34				上原町14-1 外2番	1,119	店舗(レストラン)建設	発掘		
35				元福地町1-25-10	1,865	宅地分譲	発掘		
36				坂久保町字元福地1528 1 外2番	5,466	遺構建設	発掘		
37				小塚町	50,055	遺構建設	発掘		
38	南町遺跡	81A25		南町 丁1 7	947	ビル建設	発掘		元福地町(池田)調査区画
39				南町町3-34-1 外2番	2,866	宅地分譲	発掘		
40				元福地町1889 4 外4番	2,514	南町住宅建設	発掘		
41	南町遺跡	81A16		坂久保町1308-9	314	住宅区画事業	発掘		元福地町(池田)調査区画
42				坂久保町字元福地1471 外11番	5,918	住宅区画	発掘		
43				元福地町小塚町内157	1,445	住宅区画建設	発掘		開発中
44	南町遺跡	81H-5		元福地町147-6-9・148-2・3・5	1,888	住宅区画	発掘		元福地町(池田)調査区画
45				坂久保町1065 外11番	3,210	住宅区画	発掘		

番号	遺跡名	拠点	本 格	所在区域	調査年度	調査内容	調査結果	調査者	本調査形態・備考
46			丸根町内字庄54-4 外2層	1,405	洋館（旧船庫跡跡）建設	否	無		
47			丸根3-126-1 外2層	1,405	洋館（旧船庫跡）建設	無			
48			新井橋東3-2 外	5,152	瓦 葺 洋 館	無			再 掘 発
49			丸根町内2-2 外3層	1,760	マンション建設	無			
50			丸根町内2-26-7 外	1,393	洋館（旧船庫跡）建設	無			
51			丸根町内字庄143-1	67	洋館跡跡建設	無			
52			上川町内字庄22-5	1,571	洋 館 住 宅 建 設	無			
53			丸根町内6 外4層	2,553	洋館（旧船庫跡跡跡）建設	無			
54	天神川遺跡	跡A13	丸根町内93-63	674	洋館（旧船庫跡）建設	否			調査を断り交し掘り発
55			小栗町内字庄174-2 丸根町内字庄142-1	1,939	上層の洋館及びマンション建設	無			
56			下石町内33-7・8・18	1,143	洋 館 跡 建 設	無			
57	川口白遺跡	跡C6	小栗町内字庄133-1	5,336	洋館の発掘及び土壌採取	否			調査中止
58			小栗町内字庄143-1	1,466	洋館跡跡跡跡跡跡	無			
59			丸根町内字庄175 外3層	5,377	洋館（洋人船庫跡）建設	無			
60			丸根町内字庄142-1 外2層	2,936	洋館（洋人船庫跡）建設	無			
61	堤越遺跡	跡A21	丸根町内3-2-4・5	2,706	洋館（スーパーマーケット）建設	否			調査4地区発掘跡跡跡跡
62			丸根町内3-20-2	1,692	洋 館 跡 建 設	否			調査中止
63			丸根町内3-280-1・2	1,946	工 務 倉 庫 跡 建 設	無			
64			丸根町内1-75-8 外3層	3,127	洋 館 建 設	無			調査4地区発掘跡跡跡跡
65			丸根町内0-3 外4層	1,634	洋 館 建 設	無			
66			丸根町内字庄下17-1 外3層	1,614	マンション建設	無			
67			千代町内1-1-20	7,334	洋 館 建 設	無			



柳久保遺跡の竪穴住居と建物跡



事業名 坂町住宅用地造成工事（前橋工業団地造成組合）

所在地 前橋市丸子町字柳久保

調査期間 昭和31年5月23日～昭和31年12月10日（発掘調査）

担当者 岡村吉備・福田清雄

面積 第11遺跡跡 8,800㎡
合 計 13,200㎡

調査の経緯 昭和30年度から始まった発掘調査も3年度が終了して、来年度の調査を待つだけとなった。今年はその年引引き続き、古墳台地の調査を行ない終了した。

立地 本遺跡は前橋市丸子町字柳久保、丸根町字柳久保・新井・丸久保・下渡谷中橋谷に所在し、市街地から東へ約800mの位置にある。国道50号線を東に向い二之宮十字路を北へ進むと市道大倉10号線と交わる。ここを左折してまもなく左手に清田中学校、右手に本遺跡跡をみる。

ここは赤城山降積未結の古墳台地上にあり、東側谷間に富川、西側谷間に堤越で富川と合流する茨つ堀りがある。

標高は上川町内字庄跡で112m、大栗町で

1,3mを測る。
旧石器時代 新片を数点採取した。
縄文時代 黒色頁岩製打石製器1点出土。甲州湖から前橋にかけての谷間帯から多数の石器と土器を出土し、層として10層検出した。
弥生時代 なし。
古墳時代 住居跡は、3つに分けると、前期2層、中期3層、後期5層となった。その他、竪穴住居跡や土器を出土。また9mを超える住居跡から湖石製の瓦玉も出土した。
奈良・平安時代 住居跡2跡と 350層を超える住居を出土した。

（福井健雄）

2. 柳久保遺跡群



下鶴谷遺跡全景

遺跡位置図(国土地理院・5万分の1「新橋」)



事業名	福岡市電線地造成工事(前橋工業団地造成組合)
所在地	前橋市荒子町柳久保・下鶴谷・中鶴谷
調査期間	81年4月4日～81年12月25日
担当者	千住平生・野田真一・和谷肇
面積	合計 22,963㎡
	柳久保遺跡(第10地点)
	720㎡
	下鶴谷遺跡(第13地点)
	720㎡
	柳久保遺跡(第14地点)
	11,300㎡
	中鶴谷遺跡(第15地点)
	3,700㎡
	柳久保遺跡(第16地点)
	333㎡

調査の経緯 本発掘調査は1町年、昨年(80年)に続き3年目である。調査は第14遺跡・第13遺跡・第10遺跡・第16遺跡・第15遺跡の順で行なわれた。

立地 志保町総館の標高101～115mの台地と谷地形により構成されている。

柳久保遺跡(第10遺跡)

先土器時代 ナイフ形土器1点。

縄文時代 土城1基、土器片・石器片

を少量検出。

古墳時代以降 土城2基。

下鶴谷遺跡(第13遺跡)

先土器時代 なし。

縄文時代 住居址6軒、土城3基、集石之墓を検出。遺物は早期から中期までの土器片、石器を検出。

古墳時代 土城1基。前期土器片出土。

奈良・平安時代 住居址7軒、炭灰7期を検出。他に時代(不明)の土城1基。

柳久保遺跡(第14遺跡)

先土器時代 縄文時代 弥生時代 なし。

古墳時代 なし。

平安時代以降 溝6条を検出。

中鶴谷遺跡(第15遺跡)

先土器時代 なし。

縄文時代 後土器片少量検出。

弥生時代 遺跡はなかった。

古墳時代 土器断片少量検出。

奈良・平安時代 住居址6軒、土城15基、竪穴柱遺物址4棟、ビッド約160基、井戸9基を検出。(千住平生)

3. 元総社明神遺跡V



古墳時代遺跡

遺跡位置図(国土地理院・5万分の1「新橋」)



事業名 前橋都市計画事業元総社(西部第三分団)地区土地造成整備事業(区画整理第一線)

所在地 前橋市元総社町2303番地の1
調査期間 81年5月1日～81年11月13日
担当者 志保内寺・加藤二牛
面積 816.3㎡

調査の経緯 区画整理第一線より、上記事業に伴う調査依頼があり、昭和60年以来発掘文化財の発掘調査が行われてきている。

立地 本三製糖工場跡は、元総社小学校裏に位置する片刈り中央の台地裾辺である。南北450mの範囲で7本のトレンチ調査を行った。付近の台地上は古墳～平安期の住居址が密集しており、各地の発掘痕跡から生活の痕跡が確認された。

先土器時代 なし。

縄文時代 前期～晩期に至る土器片が確認されているが遺物は検出されなかった。第10a、11a、12a、13a、14a、15a、16a、17a、18a、19a、20a、21a、22a、23a、24a、25a、26a、27a、28a、29a、30a、31a、32a、33a、34a、35a、36a、37a、38a、39a、40a、41a、42a、43a、44a、45a、46a、47a、48a、49a、50a、51a、52a、53a、54a、55a、56a、57a、58a、59a、60a、61a、62a、63a、64a、65a、66a、67a、68a、69a、70a、71a、72a、73a、74a、75a、76a、77a、78a、79a、80a、81a、82a、83a、84a、85a、86a、87a、88a、89a、90a、91a、92a、93a、94a、95a、96a、97a、98a、99a、100a、101a、102a、103a、104a、105a、106a、107a、108a、109a、110a、111a、112a、113a、114a、115a、116a、117a、118a、119a、120a、121a、122a、123a、124a、125a、126a、127a、128a、129a、130a、131a、132a、133a、134a、135a、136a、137a、138a、139a、140a、141a、142a、143a、144a、145a、146a、147a、148a、149a、150a、151a、152a、153a、154a、155a、156a、157a、158a、159a、160a、161a、162a、163a、164a、165a、166a、167a、168a、169a、170a、171a、172a、173a、174a、175a、176a、177a、178a、179a、180a、181a、182a、183a、184a、185a、186a、187a、188a、189a、190a、191a、192a、193a、194a、195a、196a、197a、198a、199a、200a、201a、202a、203a、204a、205a、206a、207a、208a、209a、210a、211a、212a、213a、214a、215a、216a、217a、218a、219a、220a、221a、222a、223a、224a、225a、226a、227a、228a、229a、230a、231a、232a、233a、234a、235a、236a、237a、238a、239a、240a、241a、242a、243a、244a、245a、246a、247a、248a、249a、250a、251a、252a、253a、254a、255a、256a、257a、258a、259a、260a、261a、262a、263a、264a、265a、266a、267a、268a、269a、270a、271a、272a、273a、274a、275a、276a、277a、278a、279a、280a、281a、282a、283a、284a、285a、286a、287a、288a、289a、290a、291a、292a、293a、294a、295a、296a、297a、298a、299a、300a、301a、302a、303a、304a、305a、306a、307a、308a、309a、310a、311a、312a、313a、314a、315a、316a、317a、318a、319a、320a、321a、322a、323a、324a、325a、326a、327a、328a、329a、330a、331a、332a、333a、334a、335a、336a、337a、338a、339a、340a、341a、342a、343a、344a、345a、346a、347a、348a、349a、350a、351a、352a、353a、354a、355a、356a、357a、358a、359a、360a、361a、362a、363a、364a、365a、366a、367a、368a、369a、370a、371a、372a、373a、374a、375a、376a、377a、378a、379a、380a、381a、382a、383a、384a、385a、386a、387a、388a、389a、390a、391a、392a、393a、394a、395a、396a、397a、398a、399a、400a、401a、402a、403a、404a、405a、406a、407a、408a、409a、410a、411a、412a、413a、414a、415a、416a、417a、418a、419a、420a、421a、422a、423a、424a、425a、426a、427a、428a、429a、430a、431a、432a、433a、434a、435a、436a、437a、438a、439a、440a、441a、442a、443a、444a、445a、446a、447a、448a、449a、450a、451a、452a、453a、454a、455a、456a、457a、458a、459a、460a、461a、462a、463a、464a、465a、466a、467a、468a、469a、470a、471a、472a、473a、474a、475a、476a、477a、478a、479a、480a、481a、482a、483a、484a、485a、486a、487a、488a、489a、490a、491a、492a、493a、494a、495a、496a、497a、498a、499a、500a、501a、502a、503a、504a、505a、506a、507a、508a、509a、510a、511a、512a、513a、514a、515a、516a、517a、518a、519a、520a、521a、522a、523a、524a、525a、526a、527a、528a、529a、530a、531a、532a、533a、534a、535a、536a、537a、538a、539a、540a、541a、542a、543a、544a、545a、546a、547a、548a、549a、550a、551a、552a、553a、554a、555a、556a、557a、558a、559a、560a、561a、562a、563a、564a、565a、566a、567a、568a、569a、570a、571a、572a、573a、574a、575a、576a、577a、578a、579a、580a、581a、582a、583a、584a、585a、586a、587a、588a、589a、590a、591a、592a、593a、594a、595a、596a、597a、598a、599a、600a、601a、602a、603a、604a、605a、606a、607a、608a、609a、610a、611a、612a、613a、614a、615a、616a、617a、618a、619a、620a、621a、622a、623a、624a、625a、626a、627a、628a、629a、630a、631a、632a、633a、634a、635a、636a、637a、638a、639a、640a、641a、642a、643a、644a、645a、646a、647a、648a、649a、650a、651a、652a、653a、654a、655a、656a、657a、658a、659a、660a、661a、662a、663a、664a、665a、666a、667a、668a、669a、670a、671a、672a、673a、674a、675a、676a、677a、678a、679a、680a、681a、682a、683a、684a、685a、686a、687a、688a、689a、690a、691a、692a、693a、694a、695a、696a、697a、698a、699a、700a、701a、702a、703a、704a、705a、706a、707a、708a、709a、710a、711a、712a、713a、714a、715a、716a、717a、718a、719a、720a、721a、722a、723a、724a、725a、726a、727a、728a、729a、730a、731a、732a、733a、734a、735a、736a、737a、738a、739a、740a、741a、742a、743a、744a、745a、746a、747a、748a、749a、750a、751a、752a、753a、754a、755a、756a、757a、758a、759a、760a、761a、762a、763a、764a、765a、766a、767a、768a、769a、770a、771a、772a、773a、774a、775a、776a、777a、778a、779a、780a、781a、782a、783a、784a、785a、786a、787a、788a、789a、790a、791a、792a、793a、794a、795a、796a、797a、798a、799a、800a、801a、802a、803a、804a、805a、806a、807a、808a、809a、810a、811a、812a、813a、814a、815a、816a、817a、818a、819a、820a、821a、822a、823a、824a、825a、826a、827a、828a、829a、830a、831a、832a、833a、834a、835a、836a、837a、838a、839a、840a、841a、842a、843a、844a、845a、846a、847a、848a、849a、850a、851a、852a、853a、854a、855a、856a、857a、858a、859a、860a、861a、862a、863a、864a、865a、866a、867a、868a、869a、870a、871a、872a、873a、874a、875a、876a、877a、878a、879a、880a、881a、882a、883a、884a、885a、886a、887a、888a、889a、890a、891a、892a、893a、894a、895a、896a、897a、898a、899a、900a、901a、902a、903a、904a、905a、906a、907a、908a、909a、910a、911a、912a、913a、914a、915a、916a、917a、918a、919a、920a、921a、922a、923a、924a、925a、926a、927a、928a、929a、930a、931a、932a、933a、934a、935a、936a、937a、938a、939a、940a、941a、942a、943a、944a、945a、946a、947a、948a、949a、950a、951a、952a、953a、954a、955a、956a、957a、958a、959a、960a、961a、962a、963a、964a、965a、966a、967a、968a、969a、970a、971a、972a、973a、974a、975a、976a、977a、978a、979a、980a、981a、982a、983a、984a、985a、986a、987a、988a、989a、990a、991a、992a、993a、994a、995a、996a、997a、998a、999a、1000a、1001a、1002a、1003a、1004a、1005a、1006a、1007a、1008a、1009a、1010a、1011a、1012a、1013a、1014a、1015a、1016a、1017a、1018a、1019a、1020a、1021a、1022a、1023a、1024a、1025a、1026a、1027a、1028a、1029a、1030a、1031a、1032a、1033a、1034a、1035a、1036a、1037a、1038a、1039a、1040a、1041a、1042a、1043a、1044a、1045a、1046a、1047a、1048a、1049a、1050a、1051a、1052a、1053a、1054a、1055a、1056a、1057a、1058a、1059a、1060a、1061a、1062a、1063a、1064a、1065a、1066a、1067a、1068a、1069a、1070a、1071a、1072a、1073a、1074a、1075a、1076a、1077a、1078a、1079a、1080a、1081a、1082a、1083a、1084a、1085a、1086a、1087a、1088a、1089a、1090a、1091a、1092a、1093a、1094a、1095a、1096a、1097a、1098a、1099a、1100a、1101a、1102a、1103a、1104a、1105a、1106a、1107a、1108a、1109a、1110a、1111a、1112a、1113a、1114a、1115a、1116a、1117a、1118a、1119a、1120a、1121a、1122a、1123a、1124a、1125a、1126a、1127a、1128a、1129a、1130a、1131a、1132a、1133a、1134a、1135a、1136a、1137a、1138a、1139a、1140a、1141a、1142a、1143a、1144a、1145a、1146a、1147a、1148a、1149a、1150a、1151a、1152a、1153a、1154a、1155a、1156a、1157a、1158a、1159a、1160a、1161a、1162a、1163a、1164a、1165a、1166a、1167a、1168a、1169a、1170a、1171a、1172a、1173a、1174a、1175a、1176a、1177a、1178a、1179a、1180a、1181a、1182a、1183a、1184a、1185a、1186a、1187a、1188a、1189a、1190a、1191a、1192a、1193a、1194a、1195a、1196a、1197a、1198a、1199a、1200a、1201a、1202a、1203a、1204a、1205a、1206a、1207a、1208a、1209a、1210a、1211a、1212a、1213a、1214a、1215a、1216a、1217a、1218a、1219a、1220a、1221a、1222a、1223a、1224a、1225a、1226a、1227a、1228a、1229a、1230a、1231a、1232a、1233a、1234a、1235a、1236a、1237a、1238a、1239a、1240a、1241a、1242a、1243a、1244a、1245a、1246a、1247a、1248a、1249a、1250a、1251a、1252a、1253a、1254a、1255a、1256a、1257a、1258a、1259a、1260a、1261a、1262a、1263a、1264a、1265a、1266a、1267a、1268a、1269a、1270a、1271a、1272a、1273a、1274a、1275a、1276a、1277a、1278a、1279a、1280a、1281a、1282a、1283a、1284a、1285a、1286a、1287a、1288a、1289a、1290a、1291a、1292a、1293a、1294a、1295a、1296a、1297a、1298a、1299a、1300a、1301a、1302a、1303a、1304a、1305a、1306a、1307a、1308a、1309a、1310a、1311a、1312a、1313a、1314a、1315a、1316a、1317a、1318a、1319a、1320a、1321a、1322a、1323a、1324a、1325a、1326a、1327a、1328a、1329a、1330a、1331a、1332a、1333a、1334a、1335a、1336a、1337a、1338a、1339a、1340a、1341a、1342a、1343a、1344a、1345a、1346a、1347a、1348a、1349a、1350a、1351a、1352a、1353a、1354a、1355a、1356a、1357a、1358a、1359a、1360a、1361a、1362a、1363a、1364a、1365a、1366a、1367a、1368a、1369a、1370a、1371a、1372a、1373a、1374a、1375a、1376a、1377a、1378a、1379a、1380a、1381a、1382a、1383a、1384a、1385a、1386a、1387a、1388a、1389a、1390a、1391a、1392a、1393a、1394a、1395a、1396a、1397a、1398a、1399a、1400a、1401a、1402a、1403a、1404a、1405a、1406a、1407a、1408a、1409a、1410a、1411a、1412a、1413a、1414a、1415a、1416a、1417a、1418a、1419a、1420a、1421a、1422a、1423a、1424a、1425a、1426a、1427a、1428a、1429a、1430a、1431a、1432a、1433a、1434a、1435a、1436a、1437a、1438a、1439a、1440a、1441a、1442a、1443a、1444a、1445a、1446a、1447a、1448a、1449a、1450a、1451a、1452a、1453a、1454a、1455a、1456a、1457a、1458a、1459a、1460a、1461a、1462a、1463a、1464a、1465a、1466a、1467a、1468a、1469a、1470a、1471a、1472a、1473a、1474a、1475a、1476a、1477a、1478a、1479a、1480a、1481a、1482a、1483a、1484a、1485a、1486a、1487a、1488a、1489a、1490a、1491a、1492a、1493a、1494a、1495a、1496a、1497a、1498a、1499a、1500a、1501a、1502a、1503a、1504a、1505a、1506a、1507a、1508a、1509a、1510a、1511a、1512a、1513a、1514a、1515a、1516a、1517a、1518a、1519a、1520a、1521a、1522a、1523a、1524a、1525a、1526a、1527a、1528a、1529a、1530a、1531a、1532a、1533a、1534a、1535a、1536a、1537a、1538a、1539a、1540a、1541a、1542a、1543a、1544a、1545a、1546a、1547a、1548a、1549a、1550a、1551a、1552a、1553a、1554a、1555a、1556a、1557a、1558a、1559a、1560a、1561a、1562a、1563a、1564a、1565a、1566a、1567a、1568a、1569a、1570a、1571a、1572a、1573a、1574a、1575a、1576a、1577a、1578a、1579a、1580a、1581a、1582a、1583a、1584a、1585a、1586a、1587a、1588a、1589a、1590a、1591a、1592a、1593a、1594a、1595a、1596a、1597a、1598a、1599a、1600a、1601a、1602a、1603a、1604a、1605a、1606a、1607a、1608a、1609a、1610a、1611a、1612a、1613a、1614a、1615a、1616a、1617a、1618a、1619a、1620a、1621a、1622a、1623a、1624a、1625a、1626a、1627a、1628a、1629a、1630a、1631a、1632a、1633a、1634a、1635a、1636a、1637a、1638a、1639a、1640a、1641a、1642a、1643a、1644a、1645a、1646a、1647a、1648a、1649a、1650a、1651a、1652a、1653a、1654a、1655a、1656a、1657a、1658a、1659a、1660a、1661a、1662a、1663a、1664a、1665a、1666a、1667a、1668a、1669a、1670a、1671a、1672a、1673a、1674a、1675a、1676a、1677a、1678a、1679a、1680a、1681a、1682a、1683a、1684a、1685a、1686a、1687a、1688a、1689a、1690a、1691a、1692a、1693a、1694a、1695a、1696a、1697a、1698a、1699a、1700a、1701a、1702a、1703a、1704a、1705a、1706a、1707a、1708a、1709a、1710a、1711a、1712a、1713a、1714a、1715a、1716a、1717a、1718a、1719a、1720a、1721a、1722a、1723a、1724a、1725a、1726a、1727a、1728a、1729a、1730a、1731a、1732a、1733a、1734a、1735a、1736a、1737a、1738a、1739a、1740a、1741a、1742a、1743a、1744a、1745a、1746a、1747a、1748a、1749a、1750a、1751a、1752a、1753a、1754a、1755a、1756a、1757a、1758a、1759a、1760a、1761a、1762a、1763a、1764a、1765a、1766a、1767a、1768a、1769a、1770a、1771a、1772a、1773a、1774a、1775a、1776a、1777a、1778a、1779a、1780a、1781a、1782a、1783a、1784a、1785a、1786a、1787a、1788a、1789a、1790a、1791a、1792a、1793a、1794a、1795a、1796a、1797a、1798a、1799a、1800a、1801a、1802a、1803a、1804a、1805a、1806a、1807a、1808a、1809a、1810a、1811a、1812a、1813a、1814a、1815a、1

4. 小神明遺跡群V (合田遺跡)



奈良時代の住居跡(H-1)

遺跡位置図(国土院院図5万分の1「前編」)



5. 芳賀団地遺跡

事業名 前橋工業団地造成による、
工業及び住宅用地の造成

調査区	北側遺跡	色紙遺跡	泉野池地
所在地	堀・原ノ 小坂子	馬取・小 坂野・五代 坂子・五代	
調査年度	48・49	50	51～55
調査面積	3.6ha	2.3ha	32.78ha
報告書	(V)巻	(W)巻	1～10(東通)

※()は未刊

81年度事業 異日並行のための整理
作業第3年目(芳賀東側団地遺跡西部分)

竪穴住居跡(30軒) 60年度行われた
調査委員による1/200平面図の縮刷の後、
81年度は、その翌年から、規模や方位等
計測によっていろいろなデータをとり、
遺構縮刷図を作った。それと平行し、遺
物が見つかった位置を平面図に記入。そ
の1/80縮尺コピーと遺物実測図の1/100
縮尺コピー、及び縮刷図を九スレイアフ
トして本文のスペースを決めた。120軒分
終了した9月下旬、調査委員会を招き
上記データ表とレイアウトを執筆者に送

事業名 前橋81年度小神明土地改良事
業(土地改良課)
所在地 前橋市小神明町字合田631 外
63筆
調査期間 81年6月30日～10月4日
担当者 桑原 昭・新保一美
面積 11,000㎡

調査の経緯 小神明地区では、前橋7
年度から土地改良事業が実施され、それ
に伴い、埋蔵文化財の発掘調査が行われ、
本件はその5年度であり、最終年にあ
たる。

5月6日 土地改良区、土地改良課、
土地改良委員会、文化財保
護課で打ち合わせ。
5月12日 調査依頼がくる。
6月30日 発掘調査完了。
10月4日 発掘調査終了、整理に入る。

立地 本遺跡は、赤城火山噴出物流の
舌状地上にあり、旧利根川(左岸から北
へ、800mほどのぼった標高130～140mの
地点にある。そして、数本のV字川によ
り扇形に広がっていて、堤に、人為的とみ
られる扇平を受けている。扇平には、前

し、扇形造成の痕跡となった。残り 185
軒分については、11月下旬に調査依頼を
終了した。

掘立建物跡(14軒) 担当者による掘
立点検を行わなかったため、データ表、
レイアウト作成の後、図様化のための資
料持ち帰りの前に平面図の中の載せる必
要のないピット等を除去作業を行なった。
(2月下旬)

製鉄・鍛冶関係遺構(竪穴住居に伴う
もの7軒、鍛冶遺跡(3か所) 遺物発掘、
平面図等は、整理センター所長、井上
佐賀氏に依頼し、8月中旬及び11月中旬
に来室していただく。その後、図面を作
成し2月下旬に、執筆者に原稿依頼済み。
なお、以上の遺構については、遺構平
面図、土質断面図、遺物実測図とも3月
下旬に記入完了。

溝状遺構(46条)、土器に関係する土
坑(5基) これらの遺構についての原稿
は、事業部の方で図様化する。3月末日
までに図、データ表、土器説明書、
レイアウト、図様化は来年度とする。

気遣遺跡群、芳賀団地遺跡、南日之口遺跡、
小神明遺跡群がある。

旧石器時代 なし。
縄文時代 無名石塚(2トシ)、加治
利D-07ヒ4式炭林肩郭(Γ)、岩橋
式炭林底郭・竪郭(Dトシ)、田中(D
トシ溝)、黒石石坑片3点(コトシ炭林
郭)等を検出。

弥生時代 なし。
古墳時代 手塚3点(F)、跡部郡(日
トシ河川筋)3棟の横山式より、佐近或は、
上河川古墳の存在を予想。

奈良・平安時代 Dトシ溝から灰利陶
器・麻陶器、土器環(器蓋土器器身)、
銅器の環・蓋、高台付銅・尊・小甕など
多数検出。H-1から、銅器の片、高台
付銅・蓋など検出。土器の遺物と遺構の
ようすから、H-1は奈良時代、H-2
はH-1より300年ほど古い。Dトシ溝は
縄文～平安時代とそれぞれ検出。

中近世 蕨、畑利田、泉家遺構等検出。
(桑原 昭・新保一美)

その他、全体図は夏々の遺構の1/200
縮尺コピーを元にした図のみ終了。でき上
がりは1/800縮とする予定。

執筆依頼した原稿は、81年度中に脱稿
される見込み。

62年度作業予定

1. 素原稿と図面を照合し、記号等の食
い違いをなくす。
2. 図面をレイアウトに合わせて図紙に記
す。また写真図表作成。(遺物写真撮影、
遺構写真測量は今年度終了)
3. 「まとめ」の原稿作成。文責は第1
巻担当、実測図責任、及び削・81年度、
芳賀東側団地調査担当。内容は、a. 芳賀
東側団地の土器形制の変遷。(昔1巻の
ものと同じ) b. aを基本として、竪穴
住居跡の分ちと変遷を述べる。またデータ
表の各項目の縮刷図の整理結果とaを比較
してみる。c. 遺構土器の出しする竪穴
住居とaの関係。

以上を82年度の前半に終了させ、印刷
校正に充分時間をかける。なお発掘者に
係る芳賀東側団地遺跡の縄文遺構の遺物
照合、遺構図面監製を行う。(前助稿終了)

6. 寺田遺跡



寺田遺跡全景

遺跡位置図(国土地理院・5万分の1「前編」)



- 事業名** 前橋市立神社保存所新築
所在地 前橋市元郷と元100番地の10
 番
調査期間 平成6年6月1日～平成9年9月30日
担当者 堀山紀雄・武田博一(市・調査員)・金子正人(スナガワ環境建設株式会社)
調査面積 887㎡

調査の経緯 前橋市都市計画中央部即第三防沖地区十地区画整理事業の支那に伴う元郷社保存所の移転に先がけ、建築文化財の高規格であることから前橋市福祉市民局所と協議を兼ねていたが元郷社(平成5年2月1～8月31日)の調査結果をもつて発掘の経緯によって建築文化財が取扱われる恐れのある部分について、発掘調査することになった。

立地 寺田遺跡は利根川に位置し、橋名「錦」の横やかなを築山を南北方向に走る牛道(と)溝川に挟まれた上野至元集土地に隣接する。

先土器時代・縄文時代 なし。
弥生時代 灰濁心礎石は確認されたが、溝溝・溝橋とも発見されなかった。

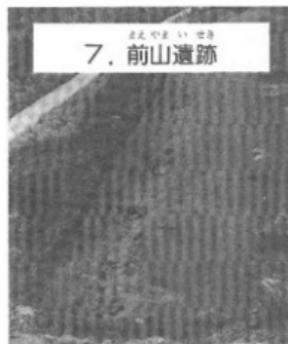
古墳時代 心礎石直下の溝の深掘り工より石田川式土器の他の円縁部破片、割河破片と多数の本敷土(伴・田舟・横・動・横動・帆・加工木)その他黒雲・紫雲・灰・葦等が検出され、この黒雲系土器から縄文期の坪・柱・容等の土器と水路状の遺構の内側糸市には葦葉月の木杓が確認された。中央部を橋かに包ませた角材が特別に敷かれ、橋のへ部と自然石で先溝を囲える状態で築山された。

奈良・平安時代 奈良に南北方向の溝(0.4～0.5m)が検出された。この溝は今回の発掘整理以前埋封されていた遺構の直下に位置する。河原の分堀からは奈良平安時代の杖・皿・高台土埴・須釜・灰燵片等、動物の骨片等が多数出土している。本遺跡の西側半分では茨城日経石の産出が見られる。

中・近世 水田耕作跡と日曜石遺構の沖側の遺土層から北宋の元花瓦雲と瓦葺道管が出土した。

(金子正人)

7. 前山遺跡



古墳時代の溝

遺跡位置図(国土地理院・5万分の1「前編」)



- 事業名** 学校建設に伴う開発造成(前橋工業地地区組合)
所在地 前橋市東沢区1268-1番地
 前22号
調査期間 確認調査 昭和31年6月21日
 ～同年7月21日
 本調査 昭和37年7月18日～
 同年9月10日
担当者 前谷俊一・近江屋成昭・武田孝
 充
面積 (確認調査) 対象面積22,000㎡
 の10% (22,000㎡)
 本調査 7,400㎡

調査の経緯 学校建設に伴う開発行為に先立ち、37年4月8日にて前橋工業団地組合より調査依頼を受ける。前橋市埋蔵文化財調査員委託事業として5月1日付で山形考古学研究所と委託契約を交わす。6月2日から確認調査、7月18日から本調査を開始し、9月10日に終了した。

立地 本遺跡は赤城山南麓に所在し、市街北から東へ約7.5kmの位置にある。調査区は標高123m前後の口一ム台地と標高115m前後の沖積地に立地する。

先土器時代 なし。
縄文時代 口一ム台地部分全域に、前庭の遺構a・b式碗の遺物同内容が確認された。また、この包含層中から掘出された土塊が7基検出された。

弥生時代 なし。

古墳時代 口一ム台地上から僅かな2条の溝を検出した。両址とも南北方向に直線的に並び、非対称に隣接し重なり合っている。いずれも断面は階段状を呈し、断面は深さが約1.5m、上端幅が2.8～3.7mである。両址とも敷下層にE.P.の二次堆積と準原始土産物と須恵器が認められた。溝の使用された年代については百世紀後半から7世紀後半までを推定した。また、確認調査の発掘調査で掘出したまま1.9mも進行しているのが確認されている。

奈良・平安時代 沖積地から茨城日経石直下の溝が2条検出された。

中・近世 なし。

(京都府允)

8. 小相荷遺跡



古墳(3号墳)

遺跡位置図(国土地理院・5万分の1「前橋」)



事業名	工業用地完成造成(LPG基地)
所在地	前橋市西大宮電77-1番 地16号
調査期間	試掘調査 昭和31年8月1日～昭和31年8月28日 本調査 昭和31年9月8日～昭和31年11月15日
担当者	高橋正男・原康雄(市・建築部)・新川順二・平田真正(川武考古学研究所)
面積	本調査部分 8,800㎡

調査の経緯 工業用地完成造成に伴う既発行済に先立ち、昭和31年7月19日に市で前橋市工業用地造成組合より調査依頼を受け、現所在地に前橋市歴史文化財発掘調査団がなり、調査業務を川武考古学研究所が実施した。8月1日から試掘調査、9月8日より本調査に入る。

立地 本遺跡は吾妻川南側の西大宮町に位置する。周辺には東神沢川、杜川が流れており、荒川谷が発達し複雑な地形となっている。南側には前・中・後の三丁子古墳がある。

先土器時代 本遺跡中央部より円石製の尖頭器1点を検出。

縄文時代 前橋の福し穴と鑑入られる土坑之基を検出。弥生器より筒・中・後期に属する土器片・石器を検出。

弥生時代 遺構なし。弥生器より後期に属する土器片1点を検出。

古墳時代 古墳石基を検出。他の遺構(土室は、土坑等)は検出されず。出土遺物は3号墳(荒川谷の遺跡)で土器、鉄器、人骨等が出土している。石室は、共に安山岩を素材とする積石形横穴石室で7世紀代の所産と思われる。

奈良・平安時代 竹垣跡は奈良時代の所産と認められる3軒を検出。1軒は瓦カマド、他は1軒は炭カマドを有し、出土遺物は少ない。

中・近世 遺構なし。

(新井順二)

9. 生川遺跡



古墳時代住居(カマド)

遺跡位置図(国土地理院・5万分の1「前橋」)



事業名	民間開発(マンション建設)
所在地	前橋市南町2丁目29番6号
調査期間	51年4月10日～51年5月31日
担当者	福田忠雄・奥田博一(市・環境部)・金子正人(スナガツ建設株式会社)
調査面積	800㎡

調査の経緯 他遺跡設立の調査行為の実施を前に早い発掘調査の依頼があり試掘調査の結果、古墳時代～平安時代の住居1軒、第2号、土坑1基が検出され、資料も多数検出されたことから調査計画と協議・調整をし昭和31年4月10日より発掘調査を実施することになった。

立地 生川遺跡は、前橋台地を貫流する利根川と堀川に挟まれた地形にある。利根川南岸の前橋台地上のこの地域は、区画整理事業等による土木工事等で土壌などが乱れている。近年上堀新幹線、開通専道道路の建設に伴う数多くの水田畑が発掘されており、この中には縄文期と鑑入られるものもあるうかと懸念される。

先土器時代 なし。

縄文時代 なし。

弥生時代 なし。

古墳時代 この時期の住居1が1軒確認された。石田式土器の付付を伴う住居と瓦葺式土庫を伴う住居が確認された。特殊資料として土器6点が出土した。発掘の住居の内3号は長巻カマドに形似していた。この3号は遺存状況が比較的良かったが、他の住居は、工場の基礎工事により破壊が著しくプランですら確認出来ないものが多かった。他に土器の破片3点と鉄製遺物が出土している。

奈良・平安時代 この時期の住居は9軒確認されたが、古墳時代よりむしろ遺構瓦葺が深い。遺存状態が悪く全体を捉える事の出来ない住居が多い。遺跡の中で目立つのが別荘である。他に灰燼貯蔵の皿、埴等の出土もしている。

中・近世 川にガサク所産製された。その内渠の井戸付近より元徳楽半1枚が出土した。

(金子正人)

10. 天神遺跡



奈良・平安時代住居跡

遺跡位置図(国土地理院・5万分の1「前橋」)



事業名 株式会社松清元給社店の新築移転に伴う造成
所在地 前橋市元給社町早通331他
調査期間 福高調査 昭和61年11月17日～11月14日
本調査 昭和61年5月1日～6月17日
担当者 柳田紀洋、沢田博一(節・調査員)、伊藤彰一、新沼洋一(山形大学考古学専攻)
面積 1,500㎡

調査の経緯 株式会社松清元給社店の新築移転に伴う造成行為に先立ち、前橋市教育委員会、株式会社松清元給、建築企業で再三協議を行なう。

調査費の負担、調査時期、調査主体者調査工程等について協議が成立し、5月1日より本調査を開始する。

立地 本遺跡は国鉄上越線新前橋駅の北西約1.2kmの地点、利根川右岸標高101m東麓に位置する。標高100m東麓は相馬ヶ原陥没帯を形成し、その南東で平坦な新橋台へ移行する。新橋台地は前橋市の南西部を占めており、本遺跡はこの朝

橋台地上に立地する。標高は113mである。

先土器時代 なし。
縄文時代 なし。
弥生時代 なし。
古墳時代 なし。

奈良・平安時代 竪穴住居跡が3軒、井戸跡が3基、土器が19種出土された。竪穴住居跡は調査区の西側に集中して分布する。平面形は長方形若しくは方形を呈する。規模は東西4.5m前後、南北3.5m前後を計る。柱穴は無いものが多い。カマドは東壁の中央内側に位置し、煙道は母方へ伸びるものが多い。遺物は土師器、須恵器、埴輪器、灰釉陶器、白磁、青磁、銅製片や鉄製片が多数出土している。本遺跡は上野国前の埋没地帯内にあり、周辺には奈良・平安時代の遺跡が多く分布する。

(伊藤彰一・新沼洋一)

11. 村東遺跡



奈良・平安時代住居跡(カマド)

遺跡位置図(国土地理院・5万分の1「前橋」)



事業名 民間開発(温水プール建設)
所在地 前橋市緑社司神社187ア-1、18/8、18/9番地
調査期間 61年10月6日～61年11月25日
担当者 高橋正男・前原豊(GI・調査員)、金子正人(メゾテック建設株式会社)
調査面積 1,000㎡

調査の経緯 開発事業者 大石秀孝氏より開発計画に伴う試掘調査の依頼があり、調査の結果、奈良・平安時代集落跡及び古墳跡と判明した。このことから開発事業者と協議調整し、発掘調査を実施することとなった。

立地 村東遺跡は、前橋市街地の北西3km程の緑社司神社(旧地名で群馬郵政社村大字大室敷)に位置し、地形的には、標高100m東麓に広がる扇状地の末端にあたり、天野岩雨水と八幡川に挟まれた緩い傾斜を示す高地上に立地する。周辺には、空堀山古墳・影山古墳・城子山古墳、河原山古墳(山王院寺)があり、上野国分寺・区分尼寺跡がある。この地域が鎌倉時代下において、上野国の中核地帯をなしていたことが窺われる。

先土器時代 なし。
縄文時代 打製石片2点、銅片数点
弥生時代 なし

古墳時代 石田川式土器片と丸塚時代の土器1基、住居址3軒、当遺物は残存状況が悪く、遺物の出土量も少ない。

奈良・平安時代 当遺跡の主体はこの時期であり、18軒の住居跡が確認された。北東部の住居からは多数の奈良朝が出土した。病によって切られた住居は、カマドの下から溝が確認された。住居を長方形に切ったカマドを築いた住居が3軒確認された。

中・近世 当遺跡中央部南りに集積跡が確認された。この部分さらに深さのとも50cmであった。遺物は石目瓦片1点と土師片2点が出土した。土層断面を見ると耕作上の下層から掘り込みが確認出来る。この事から郷の梅築時期は中世後半以降と考えられる。

近世の遺物は確認されなかった。

(金子正人)

12. 木ノ宮遺跡



木ノ宮遺跡全景

遺跡位置図(国土地理院、5万分の1・前橋.)



事業名	民間開発(西館建築)
所在地	前橋市広瀬町三丁目14-1 14-21
調査期間	表土調査 81年3月20日 試掘調査 81年4月15日 発掘調査 81年4月30日・ 5月1日
担当者	高橋正男・桑原 聡・新保一 美・前原 豊
面積	156㎡

調査の経緯 81年3月5日付で前橋市宅地開発事前協議会から、個人より申請のあった宅地開発事前協議に対する意見書の提出依頼があった。調査を実施した結果、本調査地は古墳時代から平安時代の遺跡地である可能性が極めて高いことが判明した。そのため、試掘調査を実施し、平安時代の土坑1基を確認することができた。そこで、事業者との協議の結果、教育委員会商営で発掘調査を実施することとなった。

立地 本遺跡が所在する前橋市広瀬町は前橋市街心である県庁付近から南東6kmの所にある。本遺跡は前橋台地上に立

地し北東には広瀬川低地帯が広がっており、比高3～5mの崖が発達している。この河津岸は前橋台地を占利川が侵食してできたもので、今でもこの崖下に広瀬川が流れている。本遺跡の標高は86mを測り北西から南西にかけてわずかな傾斜が見られる。

旧石器時代から弥生時代 なし。

古墳時代 文化財調査報告書第1集掲載のストウカ川古墳の発掘を確認した。調査報告書によると、ストウカ川古墳は径30m、高さ3.5m余りの円墳と推定されている。墳丘の1/3は崩去に陥れ、残りを道路によって削平されており、円形、浮鉢型、露石は確認されていない。古墳の調査で潤野川磁石が墳状に分布しており貫糸を貫直に挿して6～8mと推定すると一致する。この外、古墳時代後期鬼高田式の外形土葬が1点出土した。古墳との関連の考えられる遺物もある。

奈良時代 土坑2基、集石土葬1基が検出された。1号土坑から須磨器2点が出土した。

平安時代以降 なし。

(前原 豊)

13. 鎮守廻りの遺跡



鎮守廻り遺跡全景

遺跡位置図(国土地理院、5万分の1・前橋.)



事業名	民間開発(賃貸住宅建設)
所在地	前橋市朝倉町三丁目30-5～ 7・27・28～32
調査期間	表土調査 81年4月24日 試掘調査 81年5月8日 発掘調査 81年5月22日 ～5月29日
担当者	高橋正男・前原 豊
面積	70㎡

調査の経緯 81年4月15日付で前橋市宅地開発事前協議会から、個人より申請のあった宅地開発事前協議に対する意見書の提出依頼があった。表土調査を実施した結果、本調査地は古墳時代から平安時代の遺跡の可能性が極めて高いことが判明した。そこで、試掘調査を実施し、平安時代の溝3条、住戸北らしきものが確認された。そこで、事業者との協議の結果、市教育委員会商営で発掘調査を実施することとなった。

立地 本遺跡が所在する朝倉町は、市街地である県庁付近から南東3.7kmのところにある。遺跡の所在する地域は前橋台地上であり、標高83mを測り北西から

南東にわずかな傾斜が見られる。本地点の北側1kmには、前橋台地を利根川が侵食して形成した比高5～6mの河津段丘帯が存在する。広瀬川沿岸は、かつて県内でも屈指の古墳密集地であった。しかし、その古墳群と重複して昭和30年後半から住宅地が造成されたため、数基の古墳が遺跡で消滅している。

旧石器時代 なし。

縄文時代 多数量産の結晶片岩で作られた打製石斧が出土。

弥生時代 なし。

古墳時代 石田式、鬼高式土葬の破片が出土。

奈良・平安時代 土葬片、磁石が出土。

中世 カブツケ、埴輪系陶器が出土。

遺物として 溝が5条、土坑1基、住戸北にみられる段り床状の遺構が検出された。遺物は縄文時代から中世に至る遺物が認められているが、遺物は平安時代から中世に至るあいだのものと推定される。溝のうちW-1号溝とよんだものは幅4.6mを測る規模の大きなもので、本地域の開発に用いられた主要な幹線用水と推定できると見られる。

(前原 豊)

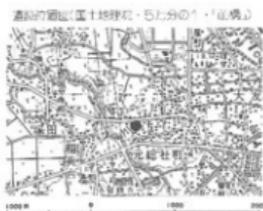
14. 神明東遺跡



神明東遺跡H-3号住居址全景



屋敷遺跡全景



事業名 民間開発（マンション建設）
所在地 防府市元郷2番3714-3、3720
調査期間 表面調査 01年8月6日
 試掘調査 01年8月20日
 発掘調査 01年10月20日~23日

担当者 高橋正男・前原 豊
面積 480㎡

調査の経過 01年8月6日だけで本調査地のマンション建設に伴う埋蔵文化財調査調査依頼が事業者より提出された。現地調査をした結果、近地上野国府に近接することから昭和初期建築形態の区画整理事業地内調査が実施して行われていることから遺跡である可能性が高いことが判明した。そのため発掘調査を実施した結果、平安時代の住居址2軒、土坑1基、溝2条を調査することができた。

立地 本遺跡は美祿川を挟んで海馬県庁の対岸に位置し、県庁から西寄り約2.5kmのところにある。遺跡は、国道前橋・安中線のすぐ北にあり、西に流れる牛堀川と東をとる主要地方道前橋・群馬・高崎線（産業道路）のほぼ中央に位置し

ている。また、遺跡の南 500mに国道17号線が走っている。

遺跡の1地所その北域は墳墓跡であり、北西から南東へ緩やかな傾斜のある高台であったが、いまでは、区画整理が進み、ほぼ平坦になっている。本遺跡の標高は約11mであり牛堀川との比高は2~3mを測る。

旧石器時代~弥生時代 なし。
古墳時代 石田（土壌層の台付壁が出土）。

奈良時代 なし。
平安時代 住居址6軒、土坑6基、溝5条、並列状溝溝1基が検出された。遺物は土器類の外、種の頭石、鉄滓、餅文瓦が出土。研み瓦は区二分中野地蔵で出土したものと同属系例である。このことは、区分寺で修理された瓦と同一工人によって作られた瓦が国産に供給された傍証となる資料である。検出された遺物の所在階層であるが遺物から10世紀前半の基準と考えられる。D-6号土坑の1級土層であり、さきの溝が出土した。（前原 豊）

事業名 民間開発（マンション建設）
所在地 防府市元郷2番2700
調査期間 表面調査 01年9月9日
 試掘調査 01年10月25日
 発掘調査 01年11月12・13・21日

担当者 高橋正男・前原 豊
面積 141㎡

調査の経過 01年9月9日付で本調査地のマンション建設に伴う埋蔵文化財調査調査依頼が事業者より提出された。9月16日に現地踏査をした結果、本調査地は近地上野国府城（中世高尾城）に入ることから遺跡的であることが判明した。そこで、試掘調査を実施することとなった。試掘調査の結果、平安時代住居址1軒、中世の1戸2基、善悪城の堀1条を確認できた。

立地 本遺跡は利別川右岸に位置し、群馬県庁から約3kmのところにある。遺跡は、鳥居足門・前橋線に直し、西の関越自動車道新橋駅と東に鎮守の地社神社のほぼ中央に位置する。また、遺跡の南には、国道17号線（高尾パーパス）が

南西から北東に走り、その南東1kmに国鉄新橋線がある。

遺跡は前橋城北の北西から南東にかけて緩やかな傾斜を持つ高台地状にある。西に美祿山水系の染谷川、東には牛堀川が流れている。付近の標高は 116mでこれらの河川との比高は3~5mを測る。

旧石器時代 なし。
縄文時代 中晩期後式土器の残片が出土。

弥生時代 なし。
古墳時代 泉宮II式墓の住居址が4軒検出された。この住居址からは河内系の白土が1基検出され、土器遺物には多数の河内系瓦片が検出されていることと考えられる。

奈良時代 遺物の検出は照かつが、板・壁の残片が出土した。

平安時代 10世紀代の住居址が4軒検出された。H-1・2号住居址の土層のなかにカワフケを含むことからより後世的な要素を持つものである。
中世 検出されたW-1号溝は中世善悪城の地割である。断面形は溝槽状であり、上幅8m、深さ4mを測る。この外に1戸溝が2基検出された。（前原 豊）

16. 勝呂遺跡



勝呂遺跡全景

遺跡位置図(国土地理院・5万分の1「前橋」)



- 事業名** 民間民衆 (遠藤建築)
所在地 前橋市江5区2-79-1、260、207
調査期間 表面調査 61年5月16日
 試掘調査 61年6月19日
 発掘調査 61年12月1日
 ～12月11日
担当者 高橋正男・前原 豊
面積 631㎡

調査の経緯 61年5月6日付にて本調査地の基礎発掘に伴う産業文化財保存調査依頼が、開発事業部から提出された。表面調査の結果、桑畑等の敷かれた地域であるため水田址の可能性が極めて高い事が判明した。その後試掘調査をした結果、法面日廻石に覆われた平安時代の水田址を顕出させた。

立地 本遺跡は前橋市の南西端、前橋市役所から3.9kmのところにある。遺跡の西は河原町との界線になっており、南は主要北方道芳橋・高崎線に面している。遺跡は前橋台地上にあり、東方150mには染谷川が南下している。付近の標高は102mで北西から南東にかけて緩やかに

傾斜している。

- 旧石器時代** なし。
縄文時代 なし。
弥生時代 なし。
古墳時代 なし。

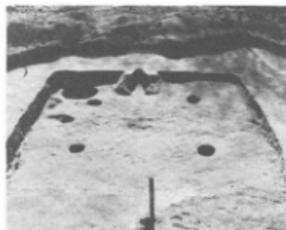
奈良・平安時代 調査の結果、『中心記』による天仁元年(1106年)浅間火山噴出の高海日經石により堆積した平安時代水田址が8箇所出された。軒料の遺存状況は南側にいくにつれ良好であり、北側では判別しなかった。検出された水田址は方眼状をなし、東西に12m、南北に10m、東西がやや長い長方形をなし、面積120㎡前後と小区画をなすものであった。

本地域の地形を細かく観察すると江田の集落が存在している区は低地帯を形成しており、古代から居住区として利用されていたものと考えられる。水田址の調査としてはビニール中樑1個分の土器破片がみられたことはすついた事を示唆しているものとしてとらえられる。

北に検出された東西の大形器は桑畑別の遺物を残す点で重要である。

(原 豊)

17. 西堀遺跡



西堀遺跡H-1号住居址全景

遺跡位置図(国土地理院・5万分の1「前橋」)



- 事業名** 民間民衆 (東京電力送配線鉄道立て替え)
所在地 前橋市上堀井町字谷尾264
調査期間 表面調査 61年11月22日
 立会調査 61年1月12日
 発掘調査 61年1月12日
 ～1月19日
担当者 高橋正男・前原 豊
面積 144㎡

調査の経緯 61年11月18日付にて本調査地の片田川線送配線鉄道立て替え工事に係る産業文化財表面調査依頼が提出された。表面調査の結果、本調査地は遺跡地である可能性が高いことが判明した。そのため、基礎工事に先立って試掘調査を実施したところ、表層地より古墳時代の寝穴住居址、縄文時代の土器を確認した。

立地 本遺跡は市街地から北東へ4km離れた水成山南麓に位置する。遺跡は、古利根川が形成した河床段丘上にあり、遺跡の南150mを北西から南東へ走る具通寺井・前橋線によって広瀬川低地帯(古利根川氾濫区)と区別される。遺跡の北

と東は、桑畑や畑地に利用されているが、西側は赤城山山頂を南流する鎌倉川により断崖され北向き高さ10mほどの崖となっている。一方南側は、広瀬川低地帯にひろがる水田を一望のもとに見渡すことができ。また、遺跡の南東に約128mを測り南100mのところには青杉鎮魂塚と呼ばれる地蔵がある。

- 旧石器時代** なし。
縄文時代 土層から縄文時代と考えられる土器1基が検出された。この外に、早期の無紋土器・前期の張輪式土器やそれに伴う石斧が出土した。この中で早期の無紋土器は粘土に結晶片岩粉を混入する特徴を持つものである。また、右側には北関東地域特有な「片刃形の石器」も認められた。

弥生時代 なし。
古墳時代 後期飛鳥Ⅱ式箱付住居址が3軒検出された。3軒とも竪を南壁に持つと考えられる。完結させたH-1号住居址は4.5mの正方形の整ったものである。この住居址からは土層の外、土玉、赤色顔料が認められた。この外に、前堀石田川式土器片2片出土があった。

奈良・平安時代以降 なし。(原 豊)

V 調査事業の成果から

1. 妙安寺文化財調査

昭和52年から足かけ10年の調査を経て、今年度前橋市文化財調査報告書「妙安寺一谷山記録寺宝」として刊行することができました。

そこで、この10年の調査をふりかえり、調査のまとめとしたいと思います。

妙安寺に本格的な調査の手が入ったのは、昭和52年のことでした。

前橋市文化財調査委員の尾崎、中澤、松田、丸山、山口先生により、古文書・記録・書画・什宝類の悉皆調査を実施し、カード、目録作成写真撮影を行ないました。

昭和52年度文化財調査報告書第8集から昭和57年度13集まで、筆録、縁起、一谷山記録の解説を報告してきました。

昭和58年度解説状況等を再検討した結果、現在の状況では今後数十年を要し、分散し資料の価値がなくなる。また什宝類について専門家の鑑定が必要であることから、妙安寺文化財調査委員会を組織することになりました。

昭和58年9月に第1回の委員会が開かれ、今までの調査結果の報告と、これからの調査について協議がありました。

同年11月より、什宝類の再調査、東本願寺、大谷大学図書館での調査を行いました。

昭和59年5月には、書画、什宝類について飯島勇先生に見ていただき、指定に併するものとの鑑定をいただいています。

その後、板倉町、茨城県一ノ谷妙安寺、^{いっごう}三村妙安寺、川越市、茂草坂東報恩寺への調査をしています。

同年12月から翌60年1月にかけて、葵紋幕について、大坂式大吉岡教授・京都国清切畑庵長により「辻ヶ花染」ではないかとの見解で、東野今長氏、文化庁広川氏他で調査を実施しました。



絹本着色観音上人像（頼蓮文）

この時は新聞、テレビで報じられました。

昭和60年には、書画・記録のうち9件12点が県指定重要文化財に、9件45点が市指定重要文化財に指定になっています。

これも、妙安寺調査の一つの成果といえます。

同年坂東報恩寺、大谷大学図書館、市内真宗寺院、上越市での調査を行い、補充としています。

昭和61年に名号2件が市指定重要文化財に指定となりました。

昭和61年度は報告書刊行の年度として、原稿集約、点検を行いました。

9月に印刷会社に入稿し、昭和62年1月に完成し納品となりました。

400部を有償頒布しましたが、好評のうちに完売となり、50部を限りとして追加頒布するほどになりました。

この10年間の調査により、真宗大谷派の^{いっごう}名刹として、一部の研究者には知られていた妙安寺について解明できたと共に、前橋市・群馬県の歴史解明は言うに及ばず、茨城県の歴史、宗教史の解明にも、いくぶんなりとの寄与ができたのではないかと考えています。

2. 前橋の小さな旅



まだ城下町の雰囲気はいくらかは残す総社地区は、大渡橋により利根川を西に渡ったところにあります。散策に適した範囲に多くの史跡が点在しており、初めて訪れる人には、ちょっとした小旅行の気分になるかも知れません。

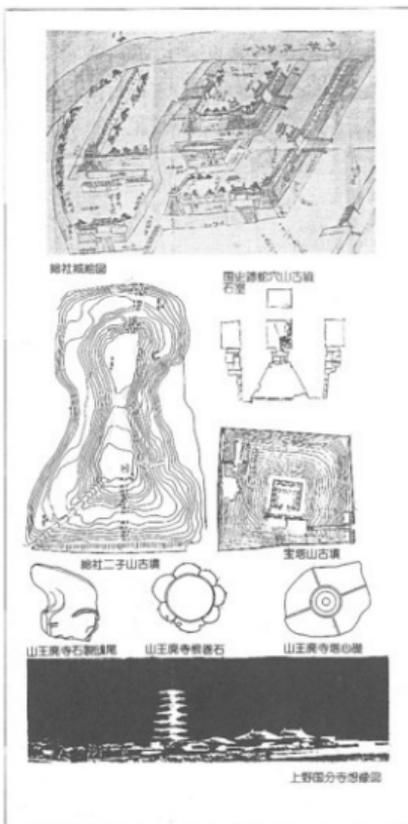
今、既存道路を利用した歴史散歩道が計画されており、その概要と総社地区全体の史跡とその整備構想(案)について、以下説明しようと思います。

歴史散歩道の整備は62年度から3ヶ年で行い、道するべく(案内標示)約100基、説明板約15基の整備と歴史散歩マップ、歴史探訪ハンド・ブックの作成が予定されています。

道するべと説明板は総社の歴史と文化にふさわしいアラインのものを、マップはビジュアルで見やすいもの、そして、ハンド・ブックは史跡の他、伝説、民話、民俗芸能、石仏なども取り上げ、来訪者の興味関心に合った歴史探訪ができるものになりたいと考えています。

先に16集では『前橋市歴史環境広域整備基本構想』の説明をしましたが、ここでは総社地区の整備構想(案)と史跡について説明しようと思います。ただし、これらの整備案は実現性はとりあえず保留し、総社地区の歴史的資産の活用と町おこしという観点により、どこまで構想しうるかの一提案ですので、ご承知おき下さい。

史跡の整備は、点より線・面と展開した方がよ



り一体的な歴史環境の形成が可能となり効果があります。総社地区は面的（その地区全体）な整備が構想可能な、市内でも数少ない地区の一つです。

以下に述べる構想は、史跡の整備にあたっては必ず、事前調査（発掘・測量他）と整備構想の検討を行なうという前提に基づくものです。

①総社の町並み・景観の整備

左頁の図にあるように、総社の町は江戸の初め城下町・宿場町として生まれ、現在も町屋敷町割図のとよりの地割りが生きています。下の写真のように町並みもその名残りをある程度とどめています。この町並みに適した建物を保存・建替えをし江戸の城下町の情緒を再現したらどうでしょう。

②古墳を取り囲む公園の整備

この地区は古墳が多く左図を見て国史跡3基他 2基の古墳があります。そして、図のように古墳の周辺をオープンスペースにし公園化すれば、史跡探訪の休憩地や自動車の駐車場、地元民の自由広場、環境保全などに活用できるはずです。

③総社城内の遠見山古墳の整備

遠見山古墳の周囲に総社城は築かれていました。古墳は城の遠見の櫓の施設として利用されていたことから、遠見山古墳の名称がつけられました。古墳とその周辺を整備し、遠見の櫓を模した施設を設け、総社城関係の説明を付したらどうでしょう。

④上野国府・山王虎寺の調査と整備

この史跡は現在発掘調査中又は中断しており、その全貌はまだ明らかではありません。上野国府は800m四方、山王虎寺は200m四方の規模を持つのではないかと考えられており、いずれも群馬県の古代史上欠かさない史跡です。まず、綿密な調査を行い、その後の整備が待たれます。

⑤天狗岩用水の歴史・自然環境の保全と沿道整備

この用水は総社藩主秋元長朝が江戸時代の初め農業用水として、また総社城を防御する掘として開削したものです。難工事だったため天狗が現われ助力したとの伝説からこの名がつけました。

用水は利根川から取水していますが、総社の地盤が高いため地表より7～8mの深さに掘られており、現在でも難工事の様子がうかがえます。両岸にはアカシアの雑木林が生い繁り野鳥が飛びかうなど、地元貴重な自然環境を提供しており、用水に沿った散策路の整備などが望まれます。

⑥コミュニティー・ミュージアム

町並みを形成するようなデザインで公民館なども兼ね、総社地区の歴史と文化を具体的に理解できるような展示がなされた施設があれば良いでしょう。ここでは、歴史散歩に来た来訪者のビジターセンターでもあり、総社の民俗・郷土芸能・伝統食等の生活文化の体験・学習など、地区の世代間交流やコミュニティーの場でもあります。

この他にも総社地区には多くの史跡・文化財があります。秋元氏の菩提寺の光蔵寺や元景寺、総社城大手門跡の薬師神宮や彫刻のすばらしい一本木稻荷などの寺社、また、道祖神や辻の地藏尊、伏見塔や庚申塔などの珍しい石造物、城下町にまつわる地名や屋号など、数えきれません。

さらにすばらしいことは『総社地区史跡愛好会』という地区全戸加入の組織があることです。

このような歴史的資産と人的資源を持つ総社地区で歴史散歩道が整備されることになりました。

散歩道がきっかけとなり、点から線・面へと広がり、この提案のどれか一つでも実現の方向へ歩み出すとしたらすばらしいことです。（中野和夫）



総社町の町並み

3. 総合調査事業

近況の年度に実施した文化財調査について専攻報告の中で記述していますが、ここでは、その内いくつかについて内容をお知らせします。

片貝神社大祭調査

元和6年は179年に一度の大祭にあたっています。祭は、禄二年(1689)から始まったといわれ、地元では29回か30回になるといっています。

三社つより、早虎稲荷・片貝神社・熊滝堂や蔵尊(香集山熊滝寺玉蔵院)の改修の年になるそうです。牛と虎は虚空蔵の守り本尊であり、東片貝が牛で、西片貝が虎であるといえます。

幼穉童貞の稚児たちが、頭に牛と虎の顔をかけたかぶりものをつけて、手に手に花をもって、行列していました。

12年に1回の大祭ということで、おねりが神社の西から、社まで行なわれました。

御神木、役員、太刀、力士、太々伴系、太刀、役員、太刀、稚児という順でなっています。

これに三股がつくものが、今は形で、この時は道合祭ということになるそうです。

おねりはゆつくりと歩き、途中3~4回休み、ふるまい廻り出されます。

太刀は、辻々で、酒め酌を介添げまき、とな



片貝神社大祭のおねり

えきをしてからほかいを行ないます。

社の境内でも、居合いをします。

太々伴系も、ずっと演義しながらなっています。ひよつとこが、盗賊の見物人をかまっています。

4月13日は、次の笛が奉納されました。1.人形2.俵袋3.伊弉奈飯倉伊弉奈美命4.天の戸5.淨母の舞6.八幡太刀7.向刀8.古懸9.籠懸10.大鼓あぶらこのうち籠懸は、恵比寿上、河幸、割女、火男二人で、2時頃にかかると聞いていましたが、なかなかの熱演で3時頃に及ぶものでした。

ここは、カエアの笛が有名ですが、今は梶の笛を打っていて、よい音がするそうです。

甲冑調査

この一年で三銃の甲冑を調査しています。調査には、日本甲冑の会の高橋賢義氏に指導していただきました。

鉄線漆塗髷籠二枚刺貞足

市内若杉町の仏師光徳氏より寄贈に際して調査をしたものです。現在児童文化センターに展示しています。

江戸時代中期に造られた当世貞足で、実用的な造りをしています。作者、着用名等は不明ですが、数百年程度の武士の着用したものです。

総重139gで、一部に後釘と欠損があるが、全体によく保存されています。

横短縮簡銅貞足

永野小学校に所蔵されているものです。

小振りですが、実用的に工人が造られたものです。先には意匠の跡をみることができ、足腰は猿面と呼ばれるもので現存が少ないものです。

嘉永六年に補修した記録があり、貴重な資料です。

鉄線髷籠髷取貞足

これも永野小学校に所蔵されているものです。

保存が良く、一式そろっています。

先は「簡珍信家」の特徴を見出す特別注文のものです。当時「信家」の兄は武士のあこがれており、所持することは名誉なことであったといわれ



東照宮の甲冑



永明小の甲冑

ています。

また、籠（貝足を入れる箱）に、金箔で「川越・牧與次兵衛」と書かれています。

牧與次兵衛は、市史等で調べると、百石取で勘定奉行・前橋町奉行をした武士です。中央公民館に展示の前橋陣屋の模札に造世奉行の副司として名が出ています。

百石取の身分では徒士（槍持）一人を必要としたので、もう一つの横箆桶側貝足は、その徒士の着用したものととも考えられます。

二領の甲冑は大正年間に下長磯町の東原儀助氏が、永明小に寄贈したものです。

銀鍍桶側貝足

この甲冑は東原宮所蔵のもので、前橋藩士木村孫市が明治九年十月十七日に奉納したものです。

実用を考えしっかり造られ、全体の重量は18.8kgとなっています。全体的にこぶりの甲冑で、前橋藩の百～百五十石取りの武士が着用したもので永明小所蔵の爰綴桶側貝取具足とともに、着用者とその身分が確認できる資料の一つです。

木村孫市は市史等によると百石～百五十石で約頭をつとめ、嘉永七年には、江戸高輪の一之谷湯当番になっています。

また、孫市が居住していた多津塚（龍塚）は、今の表町二丁目になりますが、明治七年に田中町と改められた所にあたります。

ここには、前橋藩士の中堅（百石～二百石）の士族屋敷がおかれていました。

古銭・磯部コレクションの調査

市内南町の磯部千代子氏から寄贈に際し調査したもので、現在市立図書館に保管されています。

コレクション収集の経緯について不明ですが、大正から昭和頃のものと思われる。

全部で1,730点からなり、5つの箱に取られています。

分類した結果は以下の通りです。なお中玉銭は時代別、日本銭については貨幣別になっています。

源	7	清	254	文久永宝	38
延	32	越前	4	室郎馬市	1
前橋	1	安南	30	箱館道宝	1
王将	1	絵銭(中国)	7	仙台通宝	3
南唐	8	不承(中国)	79	豊長通宝	2
豊	5	朝鮮	11	宝永通宝	1
北宋	440	小型銭	98	藩札	15
南宋	55	端白銭	33	絵銭(日本)	170
金	10	太平天国	1	古銭包紙	11
元	10	永興通宝	3	私鑄銭	1
漢	6	寛永道宝	331	書状	1
明	54	天保通宝	4	不明	2

調査にあたっては、日銀貨幣博物館の小林博氏、日本貨幣協会の松浦辰夫氏より指導を受けました。

清里地区むしろあみ調査

清里公民館で行なわれたむしろあみの様子を記録しました。



4. 普及講座

昭和68年度に行われた文化財普及のための講座は、次のとおりでした。

(1) 泉民文化大学専門講座

県教育委員会との共催で、中央公民館を会場とし、8月23日(土)～12月6日(土)までの3ヵ月半の間に計10回のシリーズで開催しました。講座は、「前橋のあゆみ」という主題で、市の歴史を連綿的に学びました。各回とも平均60名前後の受講生があり、特に10月4日に行われた公開講座には、市内外から約200名程の受講生が集まり大変盛況でした。各回とも県内の著名研究者が講義しましたが、それぞれの講師の持味が生かされ、受講生からは京都前橋の歴史をわかりやすく学べましたと好評でした。

講師と学習課題

回	学習課題	講 師	月 日
1	上毛野氏の農業と古墳文化	群馬県立歴史博物館 梅沢 重昭	8月23日(土)
2	上毛野氏と上野国分寺	群馬県立歴史博物館 松島 米治	9月6日(土)
3	女垂のぬさを解る	群馬県立歴史博物館 柴田 健	9月13日(土)
4	勤王期の土葬だらけ	群馬県立歴史博物館 梅沢 重昭	9月27日(土)
5	鎌倉時代の上野武士	群馬県立歴史博物館 鎌倉 純夫	10月4日(土)
6	川せに生きる 三世の信仰	群馬県立歴史博物館 近藤 英雄	10月11日(土)
7	足利から前橋へ 一丸山の領主たち	群馬県立歴史博物館 鎌倉 純夫	10月18日(土)
8	前橋町と商人たち	群馬県立歴史博物館 阿久津 宗二	10月25日(土)
9	両辺農村のあゆみ	〃	11月8日(土)
10	教育近代化のあゆみ	群馬県立歴史博物館 石川 克弥	12月6日(土)

以下に講義内容の梗概を紹介いたします。

上毛野氏の発展と古墳文化 講師 梅沢 重昭

三世から四世紀にかけての群馬は、榛名山南麓と赤城山麓麓といった上野の辺りを中心に弥生文化が栄えていました。

人々は、樽式土器(弥生土器の一種)等を用いた狭い谷地を利用した小規模な水田耕作を営んでいました。一方、東毛地区などの平野ではまだ水田は廻られておらず、木製の空口地帯であったと思

われます。

その後古墳時代に入つて、この空口地帯には石田式土器を使用する人々が移住してきたと言われ、急速に開発が進みました。東毛の豊かな農業生産力を背景にして、古墳の造営も始まりました。とくに、太田天神山古墳のような大型の前方後円墳については、大和政権と結びつきのある豪族によるものと考えられます。土木技術や副葬品の鳥具や水びょうろ等を見ると、大和文化の強い影響を受けており、大豪族・上毛野氏の持つ外来文化を積極的に取り入れようとする姿勢が窺えます。

八世紀には古墳は寺坑へと姿を変えて行きます。

山王塚寺と上野国分寺 講師 松島 米治

古墳時代の上毛野氏は、全国的にも有力な大豪族でした。旧前橋村、現在の前橋市東町・西大幸町にある城南三古墳は、上毛野氏の権力の大きさを雄弁に物語っています。前二子・中二子・後二子の三古墳は、規模の上からみても、また副葬品の豊かさをみても非常に立派なものです。前二子古墳から出土した内神刀薙土器には、中田から渡米したと思われる山神恵麻による山神が見られます。また、前・中・後の三古墳の位置と方位には何らかの計画性があり、極不遺跡で検出された古墳との関連性も考えられます。

大化改新後には、上毛野氏は中央の役人として活躍しました。玉珂による僧伽政治が栄える頃、上野国には国府があつて、方六町の計画的な町となっていました。国府は、現在の羽神塚あたりに東の境として設定されていたもようです。

また、国府の北内には西分寺と国分尼寺が有り、山王塚寺以来の仏教文化の流れを受け継ぎ、豊かな仏教文化が花を咲かせていたようです。

鎌倉時代の上野武士 講師 鎌倉 純夫

第五回目の公開講座は、鎌倉先生に「鎌倉時代の上野武士」という 주제로お願いした。平安時代末から鎌倉に幕府が置かれるまでの間の源平の争う時期に上野の武士たちは、どの様に動いたかを泉史、山根正、吾妻鏡等の資料を基に講義した。

治承4年(1180)京都で勃発した源頼政・以仁王の乱に際して上野武士は、足利忠綱を大将として一族郎等が京に上り平家方として乱を鎮めた。

新田荘の地頭として方を持っていた新田義盛は当初平氏に属していたが、歴史の情勢に変化が起ると、平家を離反して頼氏に属している。

上野西部には、信濃から源義仲が勢力を伸ばしており、これに敵する武士同も見られた。

妹姓足利氏内では、寿永2年(1183)の安元の此位を決する野木宮合戦により分裂が生じ、親子兄弟がそれぞれ独自の動きを示している。

源平二大勢力が争う中で上野武士は、その時々の情勢に敏感に反応し、一族でも各々の判断で動いている。その中で時勢に巧みに対応した武士が生き残り、鎌倉幕府に地頭として用いられている。

殿橋から前橋へ 講師 鎌田 市造

第7回の講義は、鎌田先生によって行われ、ともに前橋藩主であった源氏氏と松平氏の治政の違いを「活目(狂歌などによる怨書)等」を交え考察した。両家の藩主としての在任期間の差を家系と宗家の系統から探ってみたり、転封歴の多少から、(源氏氏3回、松平氏14回)政治力の差を考察してみたり興味深かった。源氏氏と松平氏の家系や人柄の違いが、それぞれ前橋の治政に及ぼした影響、近世幕藩体制の中でゆれ動く両家の運命考が熱っぽく講義され好評であった。

教育近代化のあゆみ 講師 石川 克弥

人間の高度な精神的動きから生まれてきた産物がいわゆる文化であり、それを次の者に伝えていくのが教育であるという流から始まり、古代から現代までの教育のあゆみを具体例をあげわかりやすく講義した。学という字の成りたちや、学校という言葉の起源、僧侶や貴族のためだけの教育、体制維持に利用された教育、庶民の寺子屋教育、前橋藩の藩校好古堂・求知堂、近代教育が必要であった理由、大正新教育運動、軍国主義の下での教育、戦後の民主主義教育とその問題点考、写真パネルなどの資料をもとに講義され、受講生が

らは貴重な教育史の一端が伺えたと好評であった。

② 第5回文化財普及講座 62.2.19

昭和52年からおよそ10年の歳月を費して進められてきた妙安寺文化財調査は、61年度の調査報告書「妙安寺一谷山記録・寺宝」の刊行により終了しました。報告書の刊行を機に、より多くの方々に妙安寺の寺屋や寺宝類を紹介する目的で普及講座を開きました。講師には、飯島勇・近藤義雄の両先生を招き講義と寺宝類の紹介を行いました。

「親鸞・成然と妙安寺」 講師 近藤 義雄

尊卑分脈日野系図によると、浄土真宗開祖の親鸞は源義朝の娘の吉光女と日野有範との間に生まれたとある。また、妙安寺を開基した成然(九條中村聖実)は、源義親の娘と九條良賢の間に生まれたとあり、両者は従弟の関係にあたる。親鸞は専修念仏に帰依し、別勸を受け越後国分寺へ配流される。辛実も勸告を受け東国(下総玉ノ谷)へ配流される。両者はやがて相模において運命的な出会をし、辛実は親鸞に帰依し、成然という法名をたまわす。親鸞の上洛に際し自作の肖像を呈えられ、妙安寺の寺言をもらい三村の地に妙安寺を開基する。やがて成然は、覺如により関東二十四輩の第六輩の弟子とされる。妙安寺はその後源氏頼朝の要請により寿像・寺宝とともに川越・前橋へと移っている。以上の様な内容を系図・聖人正統記・円信交名録・覚如記(親鸞の娘)の告知文、妙安寺の古文書等を通して講義をした。



近藤義雄先生



飯島 勇先生

「妙安寺とその寺宝」

飯島 勇氏

飯島先生には、専門である絵巻類の紹介を、スライドを通して解説していただきました。

指定文化財一覽表

国指定重要文化財

No.	指定年月日	指定物件名	所在地	管理者	住 所	電 話
1	昭3.8.17	建造阿弥院如来坐像	鎌賀町337豊勝寺			
2	" 28.11.24	上野国山王塚寺 塔心柱根巻石	総社町総社2408 日枝神社	群 馬 県	大手町一丁目 1-1	
3	" 40.5.29	土 偶	市東区上野公園内 東京国立博物館			

国指定史跡

No.	指定年月日	指定物件名	所在地	管理者	住 所	電 話
1	大15.10.20	上野国分寺跡	元総社町・ 群馬町東国分	前 橋 市	大手町二丁目12-1 群馬町大字足門 1667-1	
2	昭2.4.8	(総社) 二子山古墳	総社町植野 字二子山368	前 橋 市	大手町二丁目 12-1	
3	"	前二子古墳	西大室町二子山	前 橋 市	"	"
4	"	中二子古墳	西大室町五料	前 橋 市	"	"
5	"	後二子古墳 附小古墳	西大室町下諏訪	前 橋 市	"	"
6	昭2.6.14	(天川) 二子山古墳	文京町三丁目26	前 橋 市	"	"
7	昭3.2.7	山王塔跡	総社町総社2408	前 橋 市	"	"
8	" 19.11.13	宝塔山古墳	総社町総社1606 光観寺			
9	" 24.7.13	八幡山古墳	朝倉町四丁目	前 橋 市	大手町二丁目12-1	
10	" 49.12.23	蛇穴山古墳	総社町総社1587 総社小前	前 橋 市	"	"
11	" 58.10.27	女 塚	東大室町、飯上井町、 二之宮町、萬田町、 赤堀町下塚	前 橋 市 赤 堀 町	" 赤堀町大字西久保 64-5	"

国指定天然記念物

No.	指定年月日	指定物件名	所在地	管理者	住 所	電 話
1	昭13.12.14	岩神の飛石	昭和町三丁目29-11	前 橋 市	大手町二丁目 12-1	

国認定(旧)重要美術品

No.	指定年月日	指定物件名	所在地	管理者	住 所	電 話
1	昭10.12.18	四神付飾土器	大手町二丁目3-6 前橋市中央公民館	前 橋 市	大手町二丁目 12-1	
2	昭11.11.28	石製騎尾 一箇	総社町総社2398			
3	"	石製騎尾残片 一箇	総社町総社2408 日枝神社			
4	昭18.10.1	後薄成天皇 裏繪古歌御色紙 一幅	千代田町三丁目3- 30 妙安寺			
5	"	後泊風天皇 裏繪朗詠詩歌 一幅	"	"	"	"
6	"	靈元天皇(詠松岡紅葉和歌) 裏繪御懐紙 一幅	"	"	"	"

県指定重要文化財

No.	指定年月日	指定物件名	所在地	管理者	住 所	電 話
1	昭26.6.19	十一面観世音像	日輪寺町412日輪寺			
2	" 30.1.14	梵 鐘	千代田町三丁目 妙安寺			
3	" 34.8.5	蹄差(銘喜翁藤原直胤)	城東町一丁目11-17			
4	"	刀 無銘(伝元重)	小相木町150-2			
5	" 37.2.21	刀 銘土佐藩工左行秀造之	"	"	"	"
6	" 38.9.27	太刀 銘備州長船寅光	"	"	"	"
7	"	上野総社神社本殿一棟	元総社町2377 総社神社			
8	"	短刀 (銘遷左衛門尉信国) 一口	千代田町三丁目 15-10			
9	"	刀 (銘・備前国住良船五郎左衛門尉清光作)	南町三丁目14-23			
10	"	刀 (銘・巴紋印於東武藤枝太郎英義作之)	千代田町二丁目5-5			

No.	指定年月日	指定物件名	所在地	管理者	住所	電話
11	昭38.9.27	短刀(銘・於東武磨枝 英義造)	石倉町316			
12	"	なきなた 於東武英義作之	"	"	"	"
13	昭49.12.23	納骨利面	二之宮町886 二宮赤城神社	二宮赤城神社	二之宮町886	
14	"	総社社懸仏(二面)	元総社町2377 総社神社			
15	"	総社本上野国神名帳 (一卷)	"	"	"	"
16	昭51.5.7	総社神社雲板(一面)	"	"	"	"
17	"53.10.13	旧アメリカンボード 宣教師館	岩神町二丁目3-5 共愛学園	共愛学園		
18	"56.7.10	旧宝糸試験場事務棟	敷島町262 敷島公園バラ園内	前橋市	大手町二丁目12-1	
19	"60.6.25	絹本着色聖徳太子孝養像 (六臣)一幅	千代田町三丁目3-30 妙安寺			
20	"	絹本着色聖徳太子孝養像 一幅	"	"	"	"
21	"	絹本着色親鸞上人旅姿御影 一幅	"	"	"	"
22	"	絹本着色親鸞成然上人像 一幅	"	"	"	"
23	"	絹本着色親鸞上人像 一幅	"	"	"	"
24	"	絹本着色真宗七高祖像 一幅	"	"	"	"
25	"	絹本着色成然上人像 一幅	"	"	"	"
26	"	" 一幅	"	"	"	"
27	"	" 一幅	"	"	"	"
28	"	絹本着色親鸞上人縁起絵伝 四幅	"	"	"	"
29	"	中啓伝狩野山楽筆墨面画 一本	"	"	"	"
30	"	絹本着色九文人合作書画 一幅	"	"	"	"
31	"61.3.7	越江蘭本館茶室二棟付棟札 二枚	大手町三丁目15	前橋市	大手町二丁目12-1	

県指定史跡

No.	指定年月日	指定物件名	所在地	管理者	住所	電話
1	昭25.6.15	力田遺愛碑	総社町総社1607 光嚴寺			
2	"26.4.24	石田玄圭の墓	総社町萬井一丁目 34-12			
3	"26.6.19	上泉町巖附上泉古文書	上泉町字宿1140		上泉町自治会	
4	"45.12.22	前橋天神山古墳	広瀬町一丁目27-7	前橋市	大手町二丁目12-1	

県指定重要無形民俗文化財

No.	指定年月日	指定物件名	所在地	管理者	住所	電話
1	昭58.2.22	下長磯あやつり式三番付人形 3個	下長磯町281 稻荷神社			

市指定重要文化財

No.	指定年月日	指定物件名	所在地	管理者	住所	電話
1	昭39.12.22	文政四年天川原村分間絵図	文京町二丁目21-17			
2	"	文政四年前橋町絵図	文京町二丁目27-26			
3	"	大徳寺絵門	小相木町91大徳寺			
4	"	藤堂勤寺宝雲	公田町421兼明院			
5	"	カロウト山古墳石棺	三河町二丁目1-3 中川小学校校庭	中川小学校	三河町二丁目1-3	
6	"	典籍前橋藩松平家記録	大手町二丁目12-9 市立図書館	前橋市	大手町二丁目12-1	
7	"	書跡・豊臣秀吉和歌短冊	千代田町三丁目3-30 妙安寺			
8	昭60.3.27 県指定	工芸品中啓伝狩野山楽筆	"	"	"	"
9	昭45.2.10	笠原師塔婆	間原町四丁目3-4 稻荷神社境内	総社町史跡 受存会	総社町総社 1596-1	
10	"48.9.24	松平藩主画像	朝日町四丁目29-24 孝親寺			
11	"	結城政勝画像	"	"	"	"

No	指定年月日	指定物件名	所在地	管理者	住所	電話
12	昭48.9.24	酒井重忠画像	大手町三丁目17-22 源美寺		大手町三丁目 17-22	
13	"	東福寺牌口	三河町一丁目19-18 東福寺		三河町一丁目 19-18	
14	"	小島田の供養碑	小島田町大門路530			
15	"	大徳寺多宝塔	小相木町91大徳寺		小相木町91	
16	"	阿弥陀三尊画像板碑	公田町421奉明院		公田町421	
17	"	東覚寺層塔	総社町総社1607 光嚴寺		総社町総社1607	
17 の2	昭49.8.26	日輪寺寛永の絵馬	日輪寺町412日輪寺		日輪寺町412	
18	"	康泰神社八咫鏡	下大屋町569 康泰神社	氏子総代		
19	昭50.12.24	慈照院下千手観音坐像	二之宮町1811慈照院		二之宮町1811	
20	"	伯牙弹琴鏡	本町二丁目7-2 八幡宮		本町二丁目7-2	
21	"	光嚴寺薬医門	総社町総社1607 光嚴寺		総社町総社1607	
22	"	無量寿寺地藏菩薩立像	二之宮町甲764 無量寿寺		二之宮町甲764	
23	"	無量寿寺十一面観音立像	"	"	"	"
24	"	二宮赤城神社梵鐘	二之宮町886 二宮赤城神社	二宮赤城神社	二之宮町886	
25	"	二宮赤城神社絵馬	"	"	"	"
26	"	前橋藩刑場跡供養塔 ならびに道しるべ	天川大島町1025	前橋市	大手町二丁目 12-1	
27	"	宝禅寺異型板碑	上泉町1280宝禅寺		上泉町1280	
28	"	山王の宝塔	山王町464		山王町464	
29	"	八幡宮文書一巻九通	本町二丁目7-2 八幡宮		本町二丁目7-2	
30	"	前橋版圖祭礼絵巻二巻	大手町二丁目12-9 市立図書館	前橋市	大手町二丁目 12-1	
31	昭58.4.25	酒井家史料 126点	大手町二丁目12-9 市立図書館内	前橋市	大手町二丁目 12-1	
32	"	二宮赤城神社の宝塔	二之宮町886	二宮赤城神社	二之宮町886	
33	"	塩輪踊る男子像	勝沢町719芳賀小内 市立芳賀小学校	勝沢町719		
34	# 59.2.27	普蔵寺供養塔	東大室町甲6最善寺		東大室町甲6	
35	# 60.3.27	一谷山記録 八冊	千代田町三丁目3-30 妙安寺		千代田町三丁目 3-30	
36	"	妙安寺筆録 一冊	"	"	"	"
37	"	妙安寺古系図 一巻	"	"	"	"
38	"	一谷山最頂院妙安寺縁起上 下二巻	"	"	"	"
39	"	唯信鈔(伝頼筆録)一冊	"	"	"	"
40	"	唯信鈔文意(伝成然筆)一 冊	"	"	"	"
41	"	染紋奉付本多佐渡守正信奉 書等	"	"	"	"
42	"	猿蓑舞像座間係書状28通	"	"	"	"
43	"	絹本着色蓮如上人像 一幅	"	"	"	"
44	"	円満寺薬師如来坐像 一 体	後閑町383-3 円満寺		後閑町383-3	
45	"	円満寺石造阿弥陀三尊坐像 三体	" 円満寺 薬師堂		"	"
46	"	旧関根家住宅 一棟	飯土井町369-3	前橋市	大手町二丁目 12-1	
47	# 61.6.6	絹本着色九字名号 一 幅	千代田町三丁目3-30 妙安寺		千代田町三丁目 3-30	
48	"	絹本着色十字名号 一 幅	"			
49	"	富田の宝塔 一基	富田町33			
50	"	臨江閣別館付棟札及び渡廊 下	大手町三丁目15	前橋市	大手町二丁目 12-1	
51	# 61.10.30	奈良三彩小燈付検事連跡62 号住居址出土品	大手町二丁目12-9	"	"	"

市指定史跡

No.	指定年月日	指定物件名	所在地	管理者	住所	電話
1	昭39.12.22	前橋藩主酒井氏歴代墓	紅雲町二丁目8-15 龍海院		紅雲町二丁目 8-15	
2	"	前橋城車橋門跡	大手町二丁目5-3	前橋市	大手町二丁目 12-1	
3	昭45.2.10	新田塚古墳	上泉町新田塚2695			
4	昭48.9.24	経塚古墳	東善町経塚乙737			
5	"	オブ塚古墳	勝沢町420			
6	昭49.8.26	下村善太郎の墓	紅雲町二丁目8-15 龍海院			
7	" 54.3.26	亀塚山古墳	山王町一丁目28-3	前橋市	大手町二丁目 12-1	
8	"	本城氏の墓三基	紅雲町一丁目9-14 長昌寺		紅雲町一丁目 9-14	
9	昭56.4.27	秋元氏墓地	総社町植野150 元景寺		総社町植野150	
10	"	秋元氏歴代墓地	総社町総社1607 光巖寺		総社町総社1607	
11	"	今井神社古墳	今井町818	今井町自治会	今井町36-1	
12	" 58.4.25	塚原塚古墳	田口町字千手堂 582-7			
13	" 59.2.27	王山古墳	大渡町1-6-1	前橋市	大手町二丁目 12-1	
14	"	二宮赤城神社社地	二之宮町886	二宮赤城神社	二之宮町886	
15	" 61.6.6	金冠塚古墳	山王町一丁目13-3	前橋市	大手町二丁目 12-1	

市指定重要無形文化財

No.	指定年月日	指定物件名	所在地	管理者	住所	電話
1	昭48.9.24	総社神社太々神楽	元総社町2377 総社神社		元総社町2377	
2	"	野良大獅子舞	清野町32-3 八幡神社			
3	"	産泰神社太々神楽	下大屋町569 産泰神社			
4	"	片貝神社太々神楽	西片貝町1460 片貝神社			
5	昭49.8.26	泉沢の獅子舞	泉沢町44泉沢神社			
6	"	春日神社太々神楽	上佐島町1120-1 春日神社			
7	"	稲荷麻節	泉沢町672 泉沢町無形文化財 保存会			

市指定有形民俗文化財

No.	指定年月日	指定物件名	所在地	管理者	住所	電話
1	昭45.2.10	上泉の獅子舞	上泉町935諏訪神社			
2	"	二之宮の式三番叟付伝授書	二之宮町886 二宮赤城神社			
3	昭57.4.26	駒形牛頭天王の獅子頭一對	駒形町710駒形神社			

① 指定区別文化財 (62.3.31現在)

区分	重要文化財	史跡	天然記念物	無形文化財	民俗文化財	旧美術品	合計
国指定	3	11	1	0	0	6	21
県指定	31	4	0	1	0	0	36
市指定	51	15	0	7	3	0	76
合計	85	30	1	8	3	6	133

② 時代区別文化財

時代別区分	指定物件数	国指定	県指定	市指定	合計	
					件数	割合
天然	1	0	0	1	100%	
原始	1	0	0	1	100%	
古代	14	2	15	31	23.3%	
中世	3	20	22	45	33.8%	
近世	2	11	35	48	36.0%	
近代	0	3	4	7	5.3%	
合計	21	36	76	133	100%	

前橋市の歌「赤城嶺に」の歌詞の三番に次のように高らかに歌われる部分がある。

上つ毛の	国のまほろば
花咲ける	古き文化に
光添う	
青春の都市	わがふるさと
ここに親しみ	ここに和らぐ
前橋の	あすの希望を
声高く	ともに歌おう

上つ毛の国とは、とりもなおさず上毛野国のことであり、古代東国の中心地として高い文化を備え、栄えてきた群馬の地を指している。その国のまほろば、まほろばとは古語で、すぐれたよい所という意味で、上毛野国の中でも特に山紫水明で住み良い場所が前橋の地であったということを歌っているのである。この前橋の地に古き文化が花開き、先人の残した多くの文化財は、長い年月を経て現在まで大切に伝えられてきている。その古き輝かしき文化と現代の文化が共存し、調和して今まさに人生でいうなら青春時代にあるのが前橋市なのである。古都にありがちな古き文化に依存して生きていく都市ではなく、古き文化を大切に、さらに進歩していこうという希望に満ちあふれた都市が、わがふるさと、わたしたちの前橋なのである。

さて、文化財保護行政というのは、先人の残した大切な文化財を受け継ぎ、次の世代へ受け渡す仕事になっているだけではない。先人の残した文化遺産に接し、その知恵や工夫、情熱などを多くの人々に学びとってもらうために文化財の公開やその他普及的な仕事も積極的に行わなければならないという責務も負っている。今後も、さらに生涯学習等との関連を密にしながら、教育行政の一環として市民のニーズに答えるべく、仕事の充実をはかっていかなければならないであろう。



山田武麿先生を偲んで

山田先生は大正3年12月11日に生まれ、昭和61年10月29日に没せられた。現在の平均寿命からすれば早きにすぎ、誠に残念であり、深く哀悼の意を表する。先生の学生時代は昭和10年代であった。当時に於いても国際化の関心が高まったのであろう。歴史学界でも対外交渉史が研究テーマとなり、先生も大学卒論で〈キリシタンと商人〉の問題について検討された。

戦時中には兵役に入り、好むと好まざるとにかかわらず陸軍予備士官学校に学び、卒業して甲幹の区隊長という関東軍経理学校教官になり、また大隊副官という脚光あびる軍隊経験を送った。終戦後は群馬大学教授、教養部長となり、続いて群馬県立女子大学教授となり、群大と女子大の両学の名誉教授になられた。先生は陽のあたる道を歩んだ経歴のもち主と言うことができよう。

これらは先生の素質のなさしめたところであろう。テレビが街頭に現われた昭和30年から家庭に普及し始める時に、いち早く取入れた。新しいものを敏感に感じとっていた。先生の研究テーマは群馬県にとっても重要な問題を追求しておられた。これらは最初に解明せられなければならないものばかりである。養蚕製糸業という日本資本主義形成のトップ産業を究明し、商品流通を論じ、利根川水運について早い機会に注目して検討した。

先生の論文は必ずしも多くはない。しかし、才能のひらめきを感じとることができよう。前橋市史の近世史も先生の業績により明らかにすることができたものである。

前橋市文化財調査委員 丸山 知良

昭和61年度

前橋市教育委員会

社会教育課	課長	米倉	忍
	課長補佐	中嶋	隆二
文化財保護係	係長	福田	紀雄
	主査	前原	照子
	主任	濱田	博一
	主任	遠藤	和夫
	主任	高橋	正男
	主任	井野	修二
	主任	前原	豊
	主任	桑原	昭
	主任	中野	和夫
	主事	中野	覚
	主事	関根	吉晴
	主事	福田	瑞穂
	主事	原田	和博
	嘱託	新保	一美
	嘱託	加部	二生

前橋市文化財調査委員

議長 山田 武麿

(昭和61年10月29日逝去)

中沢 右吾

丸山 知良

松島 栄治

梅沢 重昭

近藤 義雄

(昭和62年4月より)

昭和61年度 文化財調査報告書 第17集

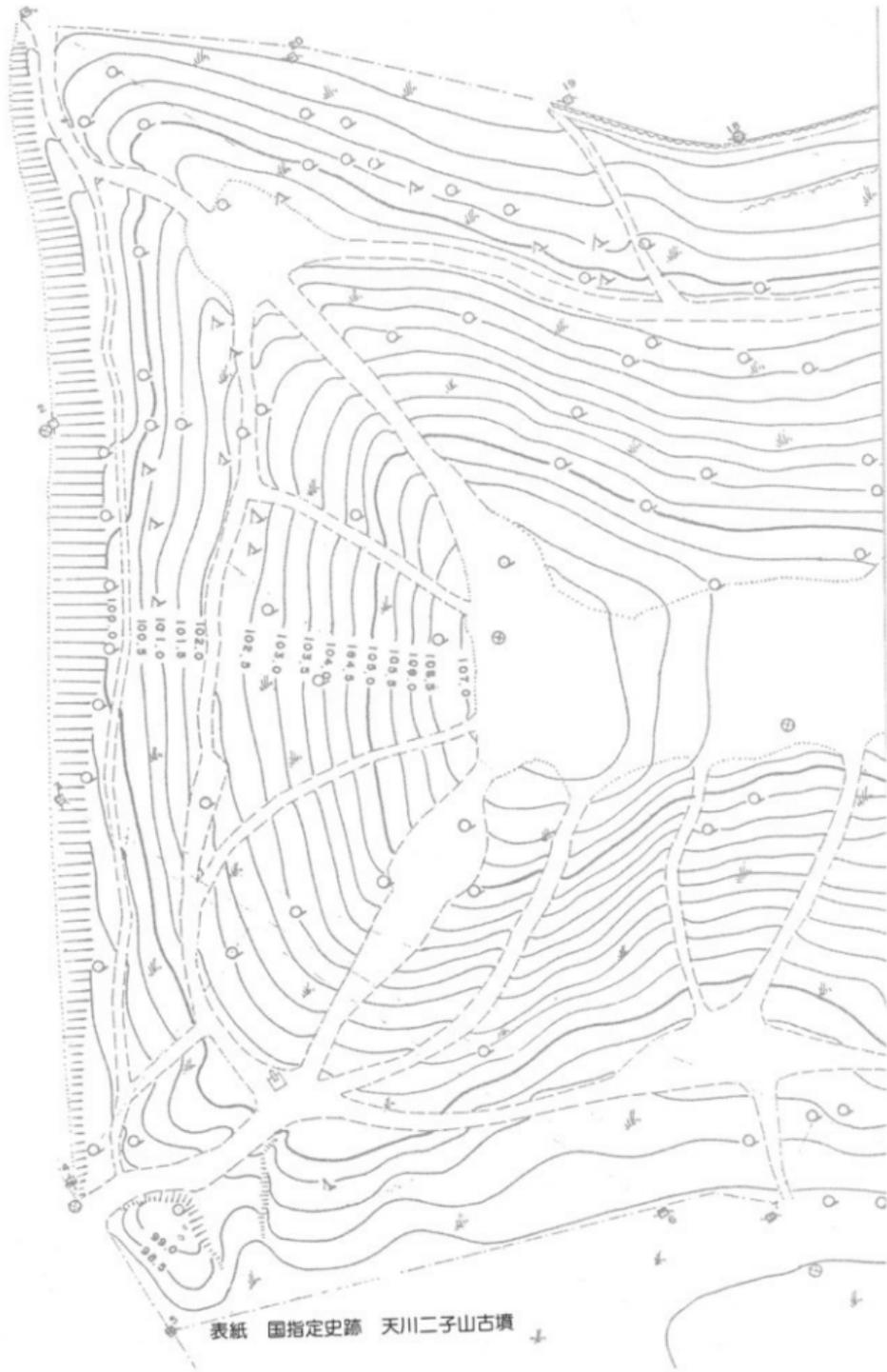
昭和62年7月25日印刷

昭和62年7月31日発行

発行 前橋市上泉町664-4

前橋市教育委員会文化財保護室

印刷 上田印刷工業株式会社



表紙 国指定史跡 天川二子山古墳